

平成27年度

事業報告書



社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

## 平成27年度 東近江市社会福祉協議会事業報告

少子高齢化の進展や地域のつながりの希薄化等により、社会的孤立や経済的困難、虐待、引きこもりなど、多様で複合的な課題が増加しているなか、平成27年度も認知症や障がい等により、判断能力が不十分な人への権利擁護事業の取り組みをはじめ、住民による見守り助け合い活動等の生活支援、地域での防災・減災などの市民の暮らしと命を守る取り組み等、市民の課題に寄り添いながら支援を行いました。

また、27年4月に施行された「生活困窮者自立支援法」については、経済的困窮により最低限度の生活を維持することができない人に対し、就労など自立に関する相談や住居の確保に必要な費用の給付など、市から家計相談支援事業や子どもの学習支援事業を受託し、市行政と連携して生活困窮者の自立に向け進めてきました。

さらに市民や関係機関等からの相談を一体的・総合的に支援する相談支援課においては、地域福祉権利擁護事業や居宅介護支援事業、障がい者相談支援事業、家計相談支援事業や生活福祉資金貸付事業などの相談に対し、社協内で部門連携し、総合相談として取り組みました。

一方、本会財政の大きな部分を占める介護保険事業においては、制度改正による介護報酬単価の引き下げに加え、介護・看護職等の確保も困難であり、多くの課題を抱えておりますが、デイサービスのサービス提供時間の延長や実施曜日の増など、市民の期待に応えられる介護事業の実施に取り組みました。

また、本会各事業所における経営状況を数値により把握して課題の掘り起こしなど、事業管理者らが経営分析と今後の対応について定期的に議論を行いました。

本会の大きな自主財源である会費については、時代に即応した事業へ適正な活用を図るとともに使途内容を具体的に示し、納得して納入していただけるよう、さらに透明性を高めました。

# 命と暮らしを支えるしくみづくり

## ① 相談支援活動の充実

各課連携のもと相談体制の充実を図り社協の相談対応力を高め、課題解決のため寄り添った支援を目指しました。

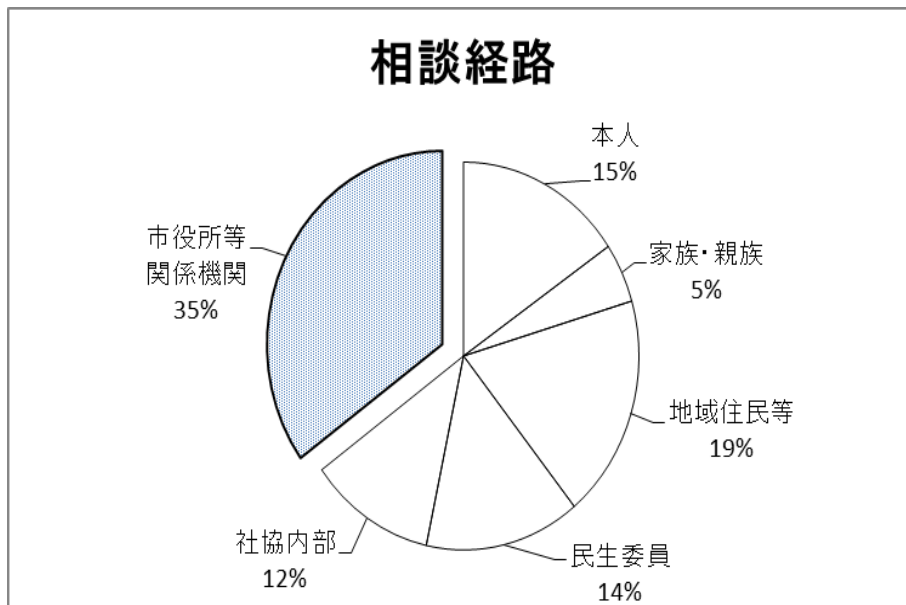
### 1. 職員による相談支援の充実

職員一人ひとりが相談者の生活課題を総合的に受け止め、課題解決に向けて支援する相談員としての意識を持ち、困りごとを抱える人やそのことに気づいた人がいつでも相談できるように取り組むことで、早い段階での相談対応や支援につながりました。

## 相談件数

	平成 26 年度	平成 27 年度	前年度比較
相談件数	5,380	5,220	-160
うち個別支援	644	693	49

- ・相談件数は 3%弱の減少となりました。相談支援体制の充実として相談支援課を設置して 2 年目であり、今後も継続的に相談実績を積み上げ分析していきます。
- ・個別的な相談支援や継続的な支援が必要な相談が増加しました。個別相談の多くが生活困窮に関する内容となっており、各課が連携し課題解決に向けた支援を行いました。必要に応じて、市役所等関係機関につながりました。



- ・相談経路では、市役所等関係機関からの相談が前年度より 5%増加しています。主には市自立相談支援事業からとなっています。生活困窮者の生活支援において、制度だけで解決できない課題が、本会の相談につながっています。

## 2. 在宅福祉サービスの実施と相談機能の充実

在宅福祉サービスを通し、身近な相談窓口として地域にアピールするとともに、利用者世帯が抱える生活課題全体を把握し、地域で安心して生活できるよう関係機関につなぐことや地域福祉活動との連携を図りました。

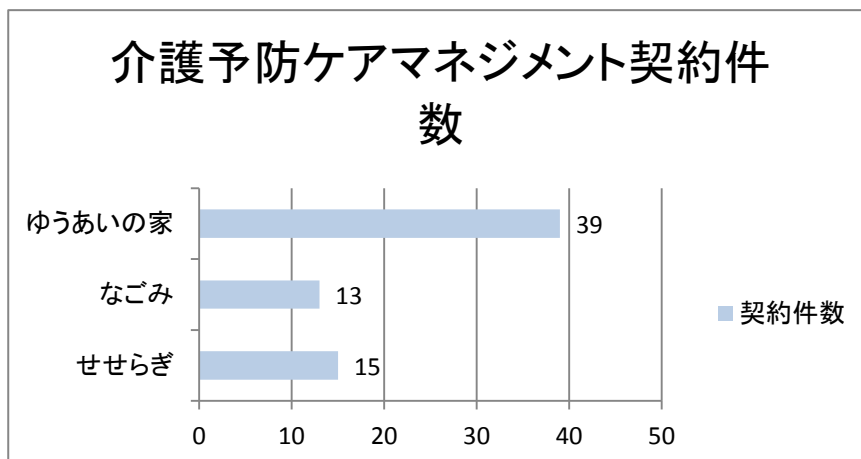
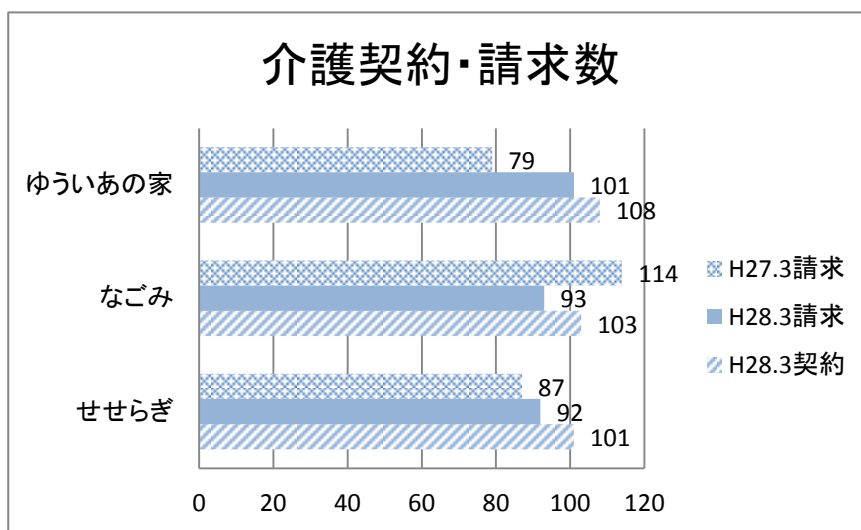
### (1) 介護保険事業

#### ①居宅介護支援事業・介護予防支援ケアマネジメント

要介護認定を受けられた方からの依頼を受け、要望の聞き取りや状況の確認を行い、介護サービスの効果的な活用により、在宅生活をより安心して続けていただくことができるようケアプラン（介護サービス計画）や要支援の方への介護予防ケアプランを作成し提案しました。平成27年度は、特に介護支援専門員が個々のサービス調整を振り返り、適切に支援が行えるよう業務マニュアルの更新等を行いました。

事業所名称	営業日	担当者	契約件数	
			介護	予防
ケアプランセンターゆうあいの家	月～金 (祝日、年末年始を除く)	3人	108	39
ケアプランセンターなごみ		3人	103	13
ケアプランセンターせせらぎ		3人	101	15

契約者が体調不良でサービス利用ができない、入院をされた等で介護給付請求ができないことにより、契約者数に対し請求件数が少なくなるという状況があります。今後、新規ケースを受任し、請求件数の増加を計るとともに、社協介護サービスが連携した事業実施を一層強化することを目指します。

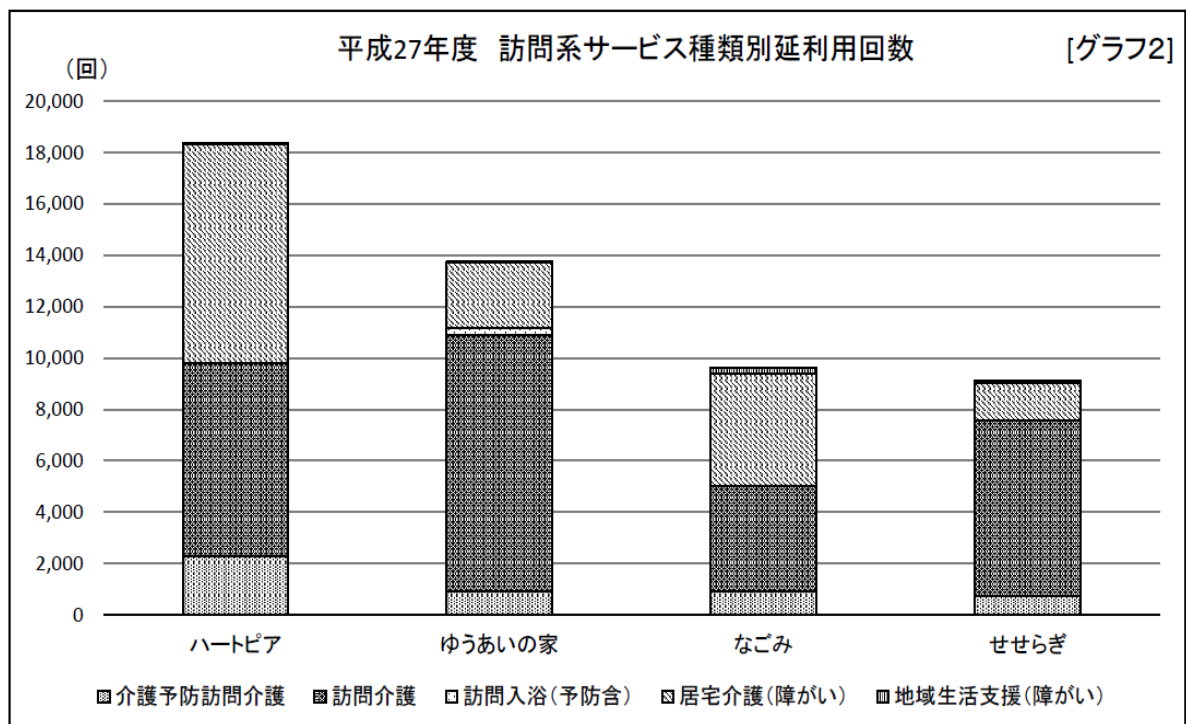
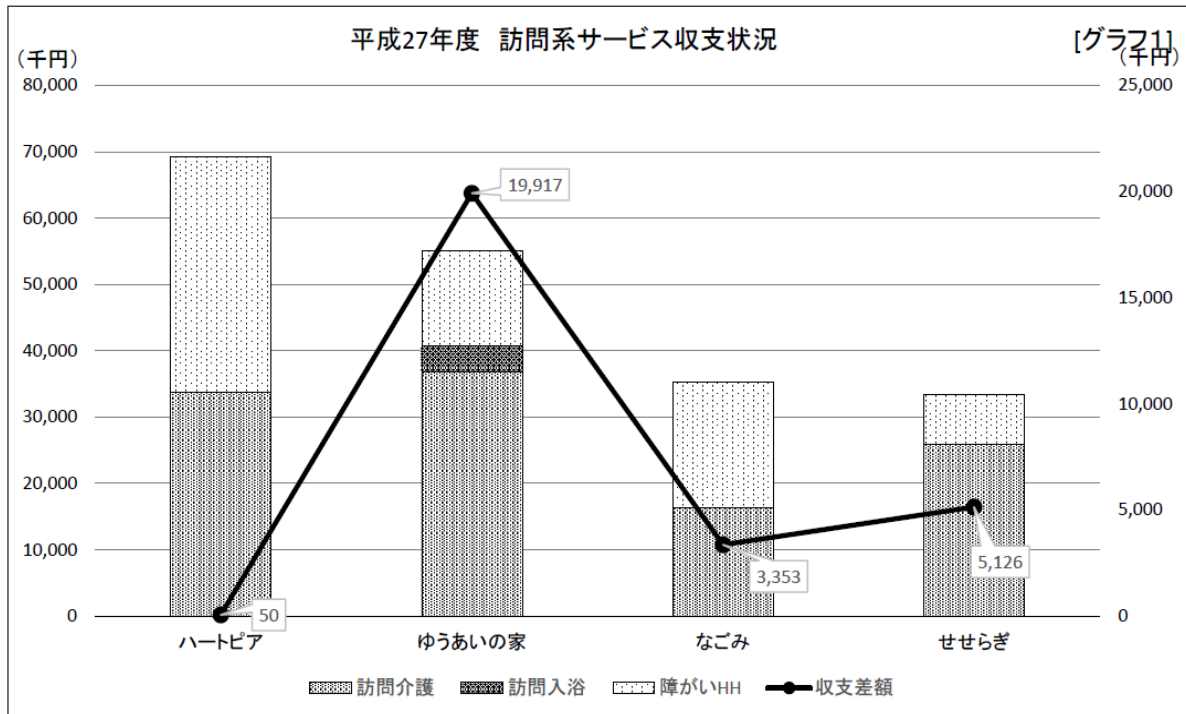


## ②訪問介護（介護予防）事業

ヘルパーステーション4事業所の地域特性を活かし、地域での暮らしを支え、利用者からの相談には他課や他機関と連携をとり、安全・安心して暮らせるように働きかけました。

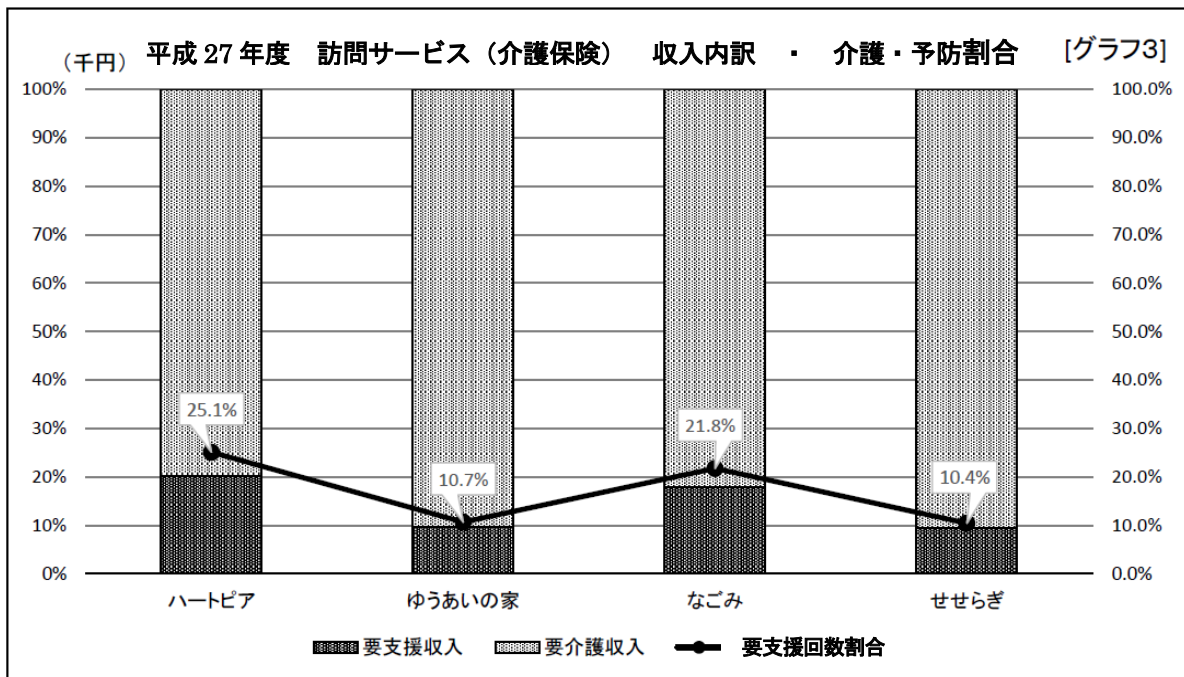
事業所名称 (ヘルパーステーション)	実績・評価
ハートピア	<p>愛東・湖東エリアも訪問していますが、ヘルパーステーションの拠点が旧八日市エリアにあるため、ケアマネジャーや家族デイサービス事業所との連携を密にし、いち早く対応できるようにし、より身近なヘルパーステーションとなるよう心掛けました。</p> <p>利用者の困りごとに対して、同館内に総務課、地域福祉課、相談支援課がある事を活かし、早期解決に向けて、連携しました。ボランティアによる布団乾燥(3件)ゴミだし(1件)移送(1件)散髪(1件)衣類の補修(3件)善意銀行からの払い出し(衣類、オムツ、パット、食料等、概ね45件)</p> <p>訪問の仕事を広く知ってもらうため、小学校からの依頼に講師をつとめました。(2件)</p> <p>地域福祉課と連携し、地域のサロンやボランティアの会議に参加し、住民さんの声を聞かせていただき総合事業につなげていきたいと考えています。</p>
ゆうあいの家	<p>利用者や、家族の思いに寄り添い在宅で終末が迎えられるようにチーム永源寺のメンバーとして連携を行っています。終末期は状態が常に変わるのでサービス内容もケアマネジャーや家族、医師と相談しながら、柔軟に対応できるようにしています。急な依頼等にも対応し、各関係機関との関係を良好に保ち、新規依頼につながるようにしました。</p> <p>東部地域について事務所からの移動に片道30分かかりますが、他事業所の参入がないため、今後も訪問を続けて行きます。</p>
なごみ	<p>経験年数の少ない職員が多かったため、あらためて制度についての勉強会を月1回行い資質向上に務めました。</p> <p>同館内に滋賀県訪問看護ステーションがあり、連携する事が多く、利用者の病状の早期発見、病状悪化を防ぐことが出来ました。</p>
せせらぎ	<p>支援サポーター会議に参加したことで、お話しボランティアによる利用者の安否(4件)、支援隊によるゴミだし(1件)等の利用者の困りごとの解決につながりました。</p> <p>蒲生医療センターからの依頼でターミナル支援をおこなってきましたが、集中減算により新規ケースが入ってこない状況です。他、居宅介護支援事業所に空き状況を伝えるなど、働きかけをしています。</p>

【総括】 ハートピア・なごみでは、介護保険より障がいの方が収入に占める割合が高く、また、収支状況は、グラフ2の利用回数とは比例せず、事業所の正職員の配置数や事業所の特徴に（ゆうあいの家・せせらぎは、ターミナル対応等短時間の身体介護が多い。ハートピア・なごみは滞在型や障害ケースが多い）左右されます。（グラフ1参照）

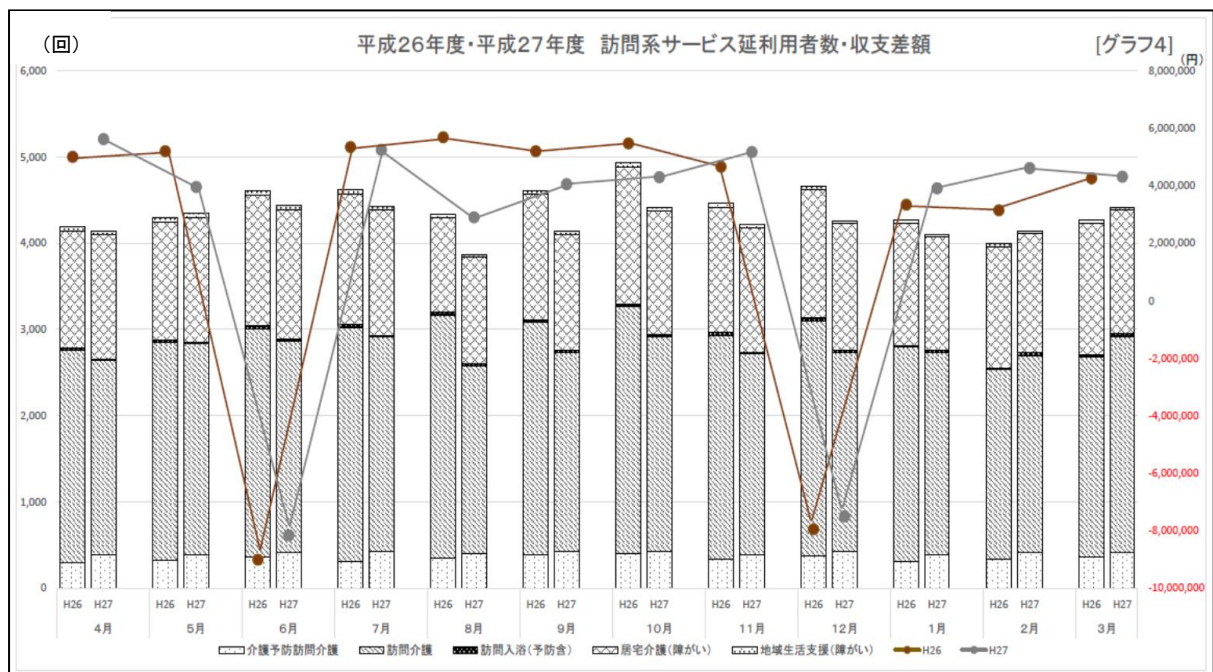


介護と介護予防の割合では、ハートピアとなごみが介護予防の利用が2割以上を占めています。

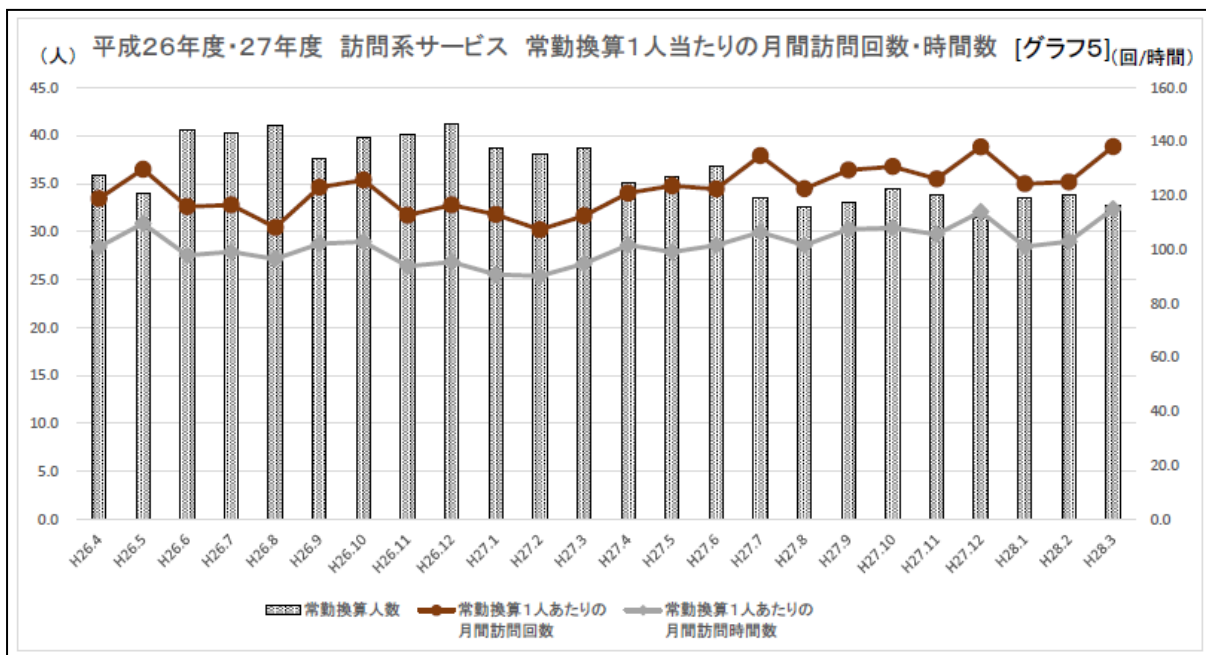




平成 27 年の介護保険法の改正により予防給付 (要支援者) の利用者が平成 29 年度末までに地域支援事業に移行されるため、社協を利用している要支援利用者について専門的対応の必要性や利用ニーズについて調査を行った結果、要支援者の在宅での入浴支援のニーズが高い事が分かりました。(グラフ 3 参照)



昨年同月比較すると収支・延べ利用者数ともに前年度より下回りましたが、11 月頃より回復しています。(グラフ 4 参照)



職員数については、平成26年度より減少していますが、職員一人あたりの訪問回数・時間数は増え、稼働率が高くなっております。これは、管理者全体会議での連携強化により依頼ケースは「断らない」を合言葉に努力した結果と思われまます。(グラフ5参照)

### ③訪問入浴介護（介護予防）事業

自宅浴槽での入浴が困難な方に訪問入浴車でご自宅にお伺いし、分割式の専用浴槽を居室に設置させていただき、利用者の身体の清潔保持と在宅生活の継続がはかれるよう支援しました。

事業所名称 (ヘルパーステーション)	実績・評価
ゆうあいの家	<p>寝たきりの利用者に情報の提供や、季節の演出（柚子風呂、さくらや紅葉を持参）をすることで、少しでも楽しみを見つけてもらえるように、工夫をしています。又、ご家族の負担軽減のため、入浴に必要なタオル類の提供も行ってきましたが、他事業所と情報交換しながらさらなる工夫をして利用しやすい訪問入浴にしたいと考えています。</p> <p>多くの方に訪問入浴を知っていただくため、お試し入浴や、地域のイベントに出むき訪問入浴の紹介を積極的に行いました。</p>

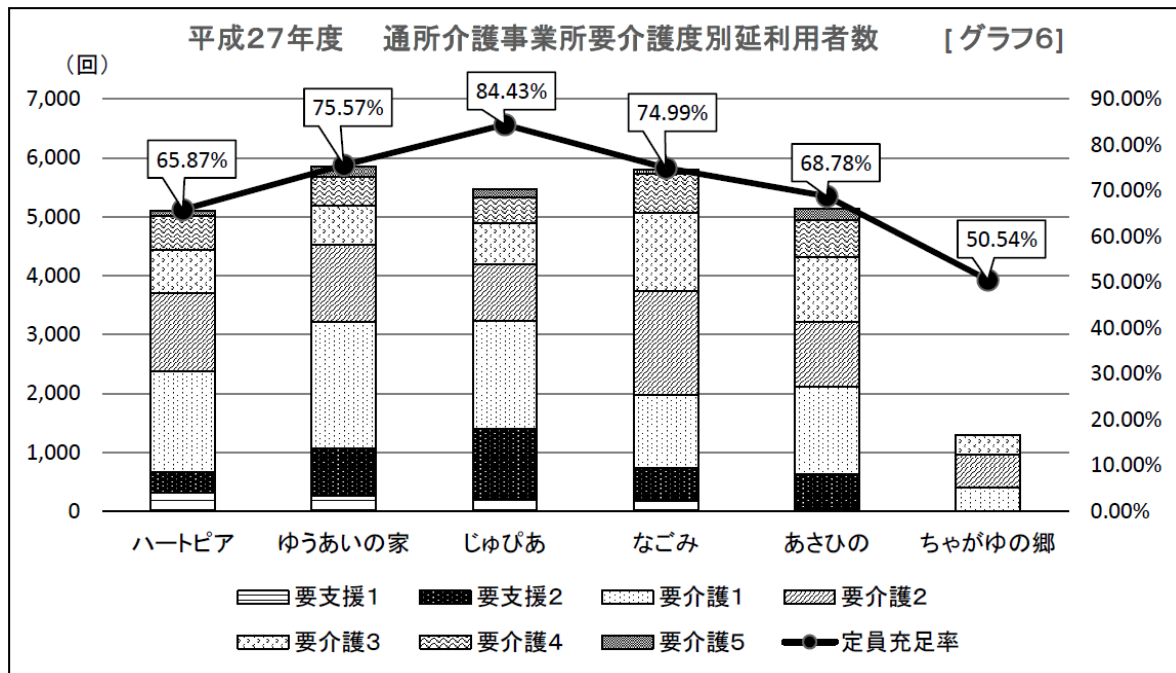


#### ④通所介護(介護予防)事業

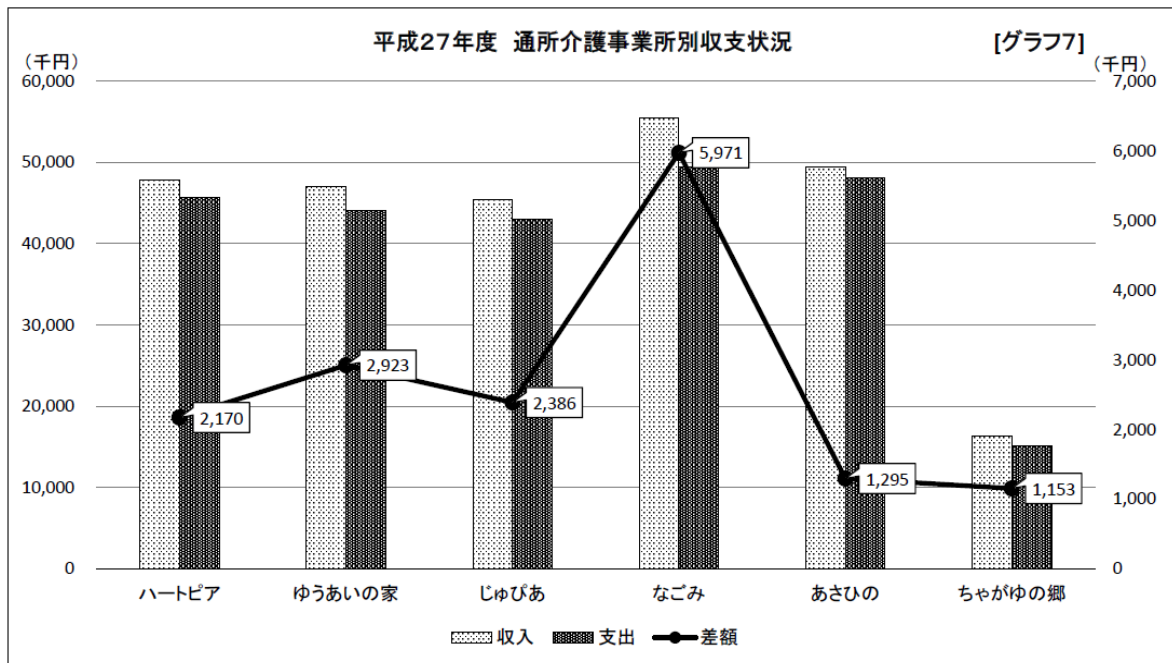
各地区の相談窓口として通常規模型の通所介護を八日市、永源寺、愛東、能登川、蒲生の5地区で5事業所を展開し、地域特性を生かした事業実施となりました。

事業所名称 (デイサービスセンター)	実績・評価
ハートピア (八日市) 日時：月～土 7～9 時間 定員：25 名	平成27年4月に認知症対応型通所介護(介護予防)と統合し、営業時間の延長、土曜日営業、看護師による個別機能訓練を始めました。活動では、認知症予防に効果的な学習療法(公文学習)や3A体操の取り組みを行ってきました。土曜日営業は、居宅介護支援事業所や地域にPRし、少しずつですが、利用者数が増えてきています。
ゆうあいの家 (永源寺) 日時：日～金 5～7 時間 定員：25 名	地域の診療所や福祉施設との連携が図れるように、地域会議に参加しています。 平成27年6月～12月は、移動販売車に来てもらい、普段買い物に行けない方に買い物を楽しんでいただく機会を設けました。
じゅぴあ (愛東) 日時：月～金 5～7 時間 定員：25 名	今年度も、居宅介護支援事業所や医療機関との連携を図ることで、ターミナル期の利用者さんの受け入れをすることができました。 近隣の小学校、中学校との交流会を実施し、地域との繋がりを強めることができました。引き続き、地域との交流を図っていきます。
なごみ (能登川) 日時：月～土 7～9 時間 定員：25 名	音楽療法を行っています。季節の歌を取り入れ、季節を感じながら取り組んでいただいています。近隣の居宅介護支援事業所にも認知され、利用者獲得につながっています。 福祉教育として、小学校や中学校との交流を行っています。子どもたちとの交流会は、皆さん楽しみにしておられます。
あさひの (蒲生) 日時：月～土 7～9 時間 定員：25 名	平成27年6月から土曜日の営業を始めました。地域へのPRを行い、利用者数も増えてきています。毎月26日の前後一週間を「お風呂の日」として、入浴剤を入れたお風呂や花を飾りつけるなど、入浴を楽しんでもらえる工夫を行っています。利用者さんに好評いただいています。

【総括】 じゅぴあでは、稼働率 84.43%で昨年と比較し大きく利用率等が伸びました。(グラフ 6)

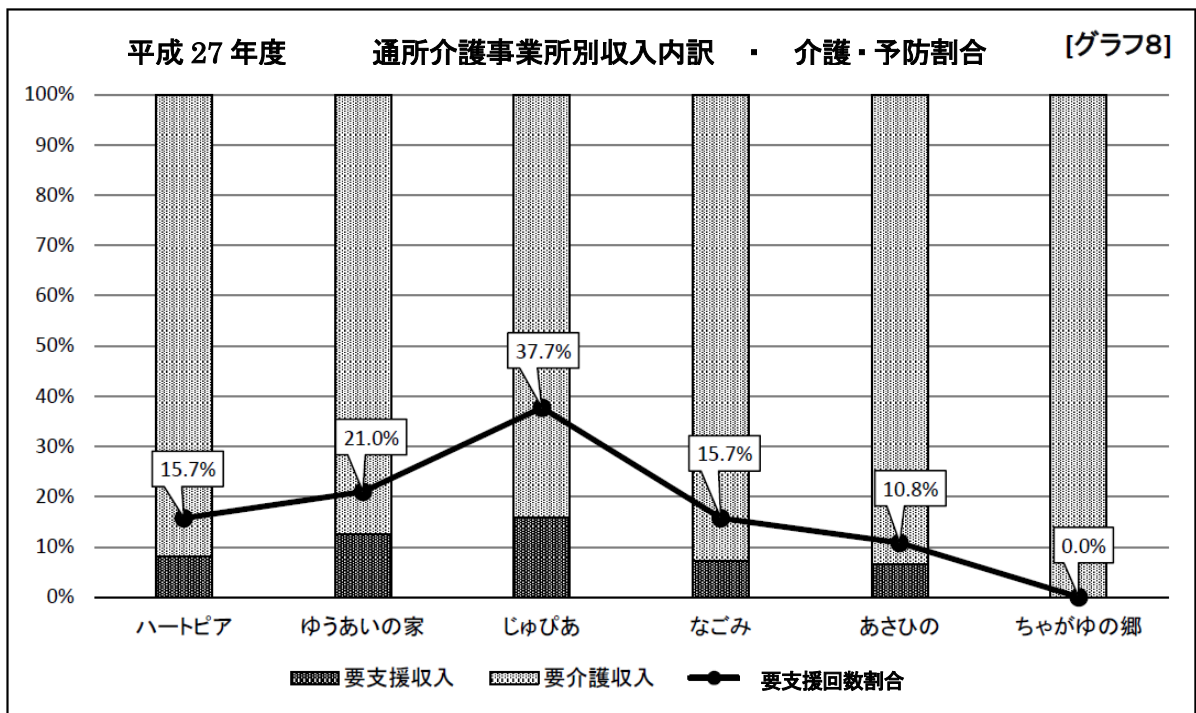


グラフ 7 の収支状況では、なごみが稼働率に比べて収入が高くなりました。これは、ハートピア・ゆうあいの家・じゅぴあは、軽度の方の利用が多く、なごみの利用者は介護度が高いことが原因と考えられます。

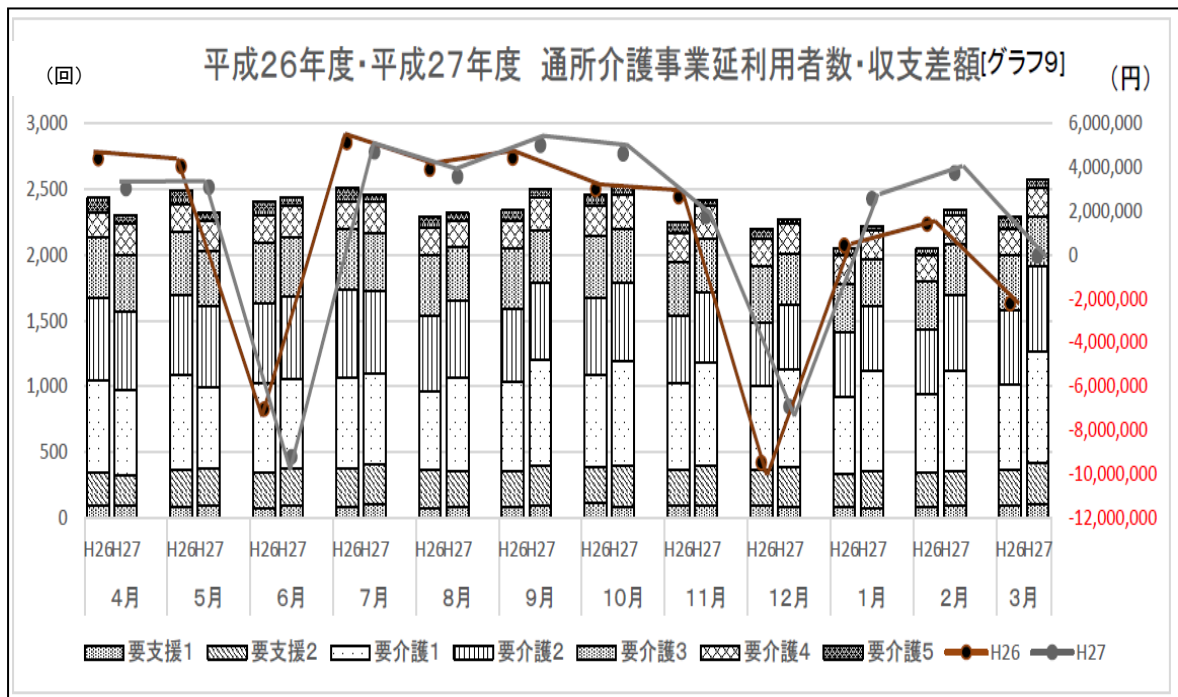


ハートピアは、4月から認知症デイサービスセンターを廃止し通常規模型デイサービスと統合、時間延長と土曜日の開催を実施しました。当初、認知症利用者の混乱が懸念されましたが、これまでの専門的対応によりカバーができ落ち着いて過ごされています。

6月からあさひの定員を30名から25名に減らし職員体制を変更せずに土曜日開催を実施し順調に増えています。ハートピアでは、自立支援プログラムに取り組み、平日の利用者は稼働率75%以上と改善し、土曜日の利用者も少しずつ増えています。



地域支援事業を見据えて市内では要支援の利用を制限している事業所があり、特にじゅぴあでは、その影響が顕著に出ており毎日の利用者数の4割弱を要支援者が占めています。今後、要支援者への対応は、社協全体の課題として検討が必要です。(グラフ8)



前年度同月と比較すると、年度前半は利用者数・収支差額とも低調に推移していましたが、8月頃より回復し昨年を上回る利用となりました。(グラフ9)

どの事業所も看護師の配置を強化した中重度ケア体制加算をとったことにより、看護師不足により拍車がかかり、当初予定していた機能訓練加算Ⅱが、看護師の配置を強化した中重度者ケア体制加算をとったことと看護師不足とあいまって看護師の曜日固定の配置ができず取れない状況になっており、看護師配置が、大きな課題です。

⑤地域密着型サービス

○認知症対応型通所介護(介護予防)事業

地域において認知症を啓発し、認知症になっても安心して住み続けられる地域づくりを行ってきました。認知症の方を対象とした専門的な通所介護サービスとなるよう内容充実を図りました。

事業所名称 (デイサービスセンター)	実績・評価
ちやがゆの郷(能登川) 日時：月～金 7-9 時間 定員：10 名	見守りネットワーク事業に今年度は、認知症カフェの実施費用が追加され、8月より実施しました。施設を開放し、コーヒーを飲みながら利用者とともに歌を歌ったり、おしゃべりを楽しみながら、認知症への理解を深めていただいています。

【総括】地域のサロンに出向くなど啓発してまいりましたが、新規の認知症の利用者が平成26年6月から増やせない状況です。その原因として通常規模の通所介護でも認知症の方の受け入れをされており、利用料の高い当事業所を選択してもらうためのハードルが高い状況です。マンツーマン対応の必要な方にも柔軟に対応できる強みがあるので、アピール方法を考えていきます。

*12ヶ月分合算 ( )内は 26年度実績	事業所	延契約者数(人)		延利用者数(人)			
		要支援	要介護	要支援	要介護	合計	月平均
	ちやがゆの郷 (能登川)	0	12 (17)	0	1,304 (1,816)	1,304 (1,816)	108.7 (155)

○小規模多機能型居宅介護(介護予防)事業

認知症になっても安心して住み続けられるまちづくりを目指し、徘徊者早期発見・声かけ訓練など地域住民への認知症啓発に力を入れてきました。家族に向き合い共に悩みながら利用者の様々な状況や状態の変化に対応しました。開設丸9年となり利用者の高齢化と重度化により今後、ターミナルケアの体制を整えていく必要があります。

事業所名称	実績・評価
かじやの里の新兵衛さん (能登川) 日時：365日24時間 定員：24名	運営推進会議の開催 6回 見守りネットワーク事業4年目 徘徊者早期発見・声かけ訓練のプレゼン 6回 認知症研修会 平成27年10月31日 292人 徘徊者早期発見・声かけ訓練 平成27年11月14日 訓練：22自治会 593人 反省会 109人 見守りネットワーク会議 平成27年12月18日 54人 認知症カフェ 8回 夏祭り 平成27年8月8日 60人 第1幼稚園との交流会 12回

【総括】利用者が施設等入所により登録者数が減り、平均18.9人と低迷状況。新規利用者は少数に止まり、相談はあるものの利用者確保が難しい状況が続いています。認知症の重度化やターミナルの方の泊りが増え登録者数の割には職員の負担は大

大きく、事業の継続には一定の職員配置が必要であり、登録利用者の確保は急務であります。原因として、本事業自体が知られてないことが考えられ、ケアマネジャー会議や広報への掲載を行いました。

運営推進会議には、外部評価の役割を担ってもらうこととなり、より一層の報告の充実が求められます。

平成 27 年度介護保険法改正により新設された総合マネジメント加算について 1,000 単位/月を算定。

かじやの里の新兵衛さん	契約者数 (人)		延利用者数 (人)		
	12 か月	月平均	泊り	通い	訪問
*12 ヶ月合算	217	18.9	4,719 (5,319)		
( ) 内は 26 年度実績	(286)	(23.8)	676 (613)	3,116 (3,563)	927 (1,143)

## (2) 障がい (児) 者福祉サービス事業

### ①居宅介護 (障がいホームヘルパー) 事業の実施

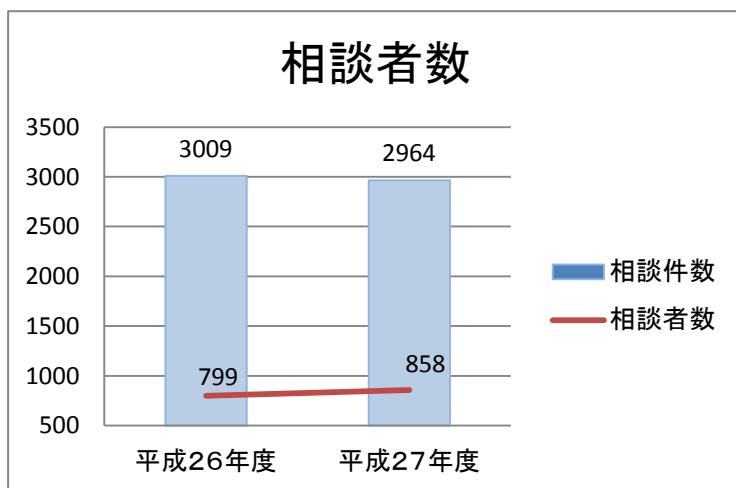
移送サービスを廃止したため、今日まで利用いただいた利用者について、スムーズな移行を行うため、相談員や次の事業所と連携し、サービスへの同行をおこないました。

事業所名称 (ヘルパーステーション)	実績・評価
ハートピア	<p>利用者数も年々増え、又、障がいの特性も多様化しています。その時の個々の状況に応じて支援の方法を考え、きめ細かな対応を心がけましたが、関わり方など悩むことは多く、研修の必要性を感じています。</p> <p>65歳に達した利用者が介護保険に移行する事で混乱されるケースがありましたが、両事業を行なっている事で、ケアマネジャーへ情報提供や連携がとれ、その後の支援に活かすことができました。</p> <p>なごみでは民生委員児童委員協議会の事例検討会に参加し、地域で暮らす知的障がい者への見守り支援について事例発表しました。機会を捉え、障がい者への理解、地域での見守りのありがたさ、大切さを伝えていきたいと考えています。</p>

### ②相談支援事業 (一般相談、指定特定相談支援事業)

障がい福祉サービスを利用されるための生活状況や希望されるサービス等についての聞き取り、サービス利用計画作成等の支援をしています。定期的に利用状況の確認を行い、必要に応じてサービス計画の変更や利用調整を行いました。

事業所名	実施日	担当者
特定相談支援事業所ハートピア	月～金 8:30-17:15 (祝日、年末年始を除く)	2名



平成27年度は2事業所を1つに統合し、複数職員による支援体制づくりに努めました。これにより担当者間での情報共有や支援内容の確認等が常に行えるようになり、支援内容の充実がはかれました。一拠点にしたことにより、訪問時間等の調整が難しくなったという状況も生じましたが、密な連絡を行い、資質の向上を図り適切な対応をしていきます。

- ・ 特定相談支援平成27年度 契約予定者数 189件  
契約者数 170件

### (3) 在宅関連受託事業(市からの委託事業)

介護保険や障がい福祉サービス事業などの知識・技術を有効に活用し、市からの委託事業を実施しました。

#### ①高齢者福祉関連

住居提供事業の利用は昨年利用された方が入所され3名の利用でしたが、山間部の方の命と暮らしを守るための事業として重要な事業です。顔なじみの職員が日常の相談を受け、また、家族との面会や買い物など厳しい冬季を安心安全に過ごして頂きました。

事業名	委託元	実施事業所等	契約者数(人)	延利用者数(人)
介護予防ケアマネジメント	市	各ケアプランセンター(3カ所)	居宅介護支援で報告	
生活管理指導員派遣事業	市	各ヘルプステーション(4カ所)	0	0
高齢者虐待対応短期宿泊事業	市	ゆうあいの家	0	0
生活管理指導短期宿泊事業	市	ゆうあいの家	0	0
住居提供事業	市	ゆうあいの家	3	254
認知症高齢者見守りネットワーク事業(認知症カフェの実施)	市	認知症対応通所介護ちやがゆの郷(3年目) 小規模多機能型居宅介護かじやの里(4年目)		

#### ②障がい児(者)福祉関連

##### ◇外出支援事業

事業名	事業所	延契約者数(人)		延利用者数(人)	
		26年	27年	26年	27年
移動介護サービス	なごみ・せせらぎ	40	23	235	188
ガイドヘルプサービス	各ヘルプステーション(4カ所)	99	95	278	239



◇地域活動支援センターⅡ型事業（障がい者デイサービス事業）

障がい者デイサービス事業では、市民ギャラリーへの作品展示や文化祭、福祉事業所の作品展に参加し、市民の方に作品をとおして障がい者への理解の啓発を行いました。利用者にとっても、作品を見ていただくことにより活動意欲を高めてもらいきっかけとなりました。

事業所	延実人数(人)		延利用者数(人)	
	26年	27年	26年	27年
障害者デイサービスセンター ハートピア	30	29	1,106	1,050
能登川障害福祉センター 水車野園	44	39	1,288	1,493
合 計	74	68	2,394	2,543

(4) 在宅関連自主事業

①在宅生活継続支援訪問介護サービス（おたすけサービス）

介護保険では支援できない入院中の衣類の洗濯や同居者のある場合の買い物・掃除、高齢者のみ世帯で施設入居中の方が一時帰宅を希望され、帰宅中の介護の支援を行いました。平成29年度に移行する新地域支援事業を見据え、事業内容の検討も行ってきました。

事業名	延実人数(人)		延利用回数(回)	
	26年	27年	26年	27年
各ヘルパーステーション (4ヶ所)	74	30	202	129

②訪問介護同行訪問実習 25名

③教育免許法に基づく介護等体験 18名

(5) 地域でのサロンの出前講座、地域での会議や講演依頼・視察受け入れなどに積極的に参画しました。

- 7月 3日（金） 御園地区 ハートピア
- 9月 18日（金） 蒲生まちづくり講座 あさひの
- 10月 5日（月） 猪子いきいきサロン 16名 かじや
- 10月 9日（金） 伊庭福祉懇談会 40名 かじや
- 10月 21日（水） 岐阜県池田町社会福祉大会 140名 かじや
- 10月 22日（木） 湖東福祉推進会・民生委員研修 60名
- 10月 24日（土） 中小路人権研修 35名
- 10月 25日（日） 東近江市母子寡婦福祉大会認知症研修
- 11月 8日（日） 市辺地区人権研修 55名
- 11月 13日（金） 北菩提寺人権研修
- 11月 14日（土） 泉台人権研修 40名
- 11月 15日（日） 東市辺認知症研修
- 11月 16日（月） 研修医通所介護研修 ゆうあいの家

- 11月20日(金) 12月1日(火) 車いすの体験 2小学校 ゆうあいの家
- 11月22日(日) 曾根福祉委員会認知症研修 25名
- 11月9日、10日、16日、17日、26日 能登川中学校福祉体験 24名
- 12月7日(日) 介護員初任者研修講師(えち福祉の人づくり実行委員会) ヘルプ
- 第1・第3(木) 未就学児親子との交流 デイなごみ
- 1月16日(日) たすけあい中野設立出席 デイハートピア
- 1月28日(木) 長峰北区サポーター会議 ヘルプせせらぎ
- 1月30日(土) 上麻生町サロン あさひの
- 3月12日(土) 東近江市民生委員児童委員 事例検討会 ヘルパーなごみ
- 2月12日(金) 能登川南小学校キャリア学習(専門職体験) デイなごみ
- 2月13日(土) 和南町サロン ゆうあいの家
- 2月14日(日) 下麻生町サロン あさひの
- 2月23日(火) 沖野自治会サロン
- 2月24日(水) 湖東地区ひとり暮らし老人の集い
- 3月4日(金) 愛東地区しあわせホーム交流会
- 3月3日(日) 蒲生小学校福祉体験(ヘルパーの仕事) せせらぎ
- 3月5日(土) 長峰サロン あさひの
- 3月8日(金) 生活サポーターコスモスの会会議 せせらぎ
- 3月16日(水) 輪つなぎ交流会 ヘルプゆうあいの家
- 3月19日(土) 介護者のつどい デイなごみ
- 3月24日(木) 東近江市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会研修会 話題提供

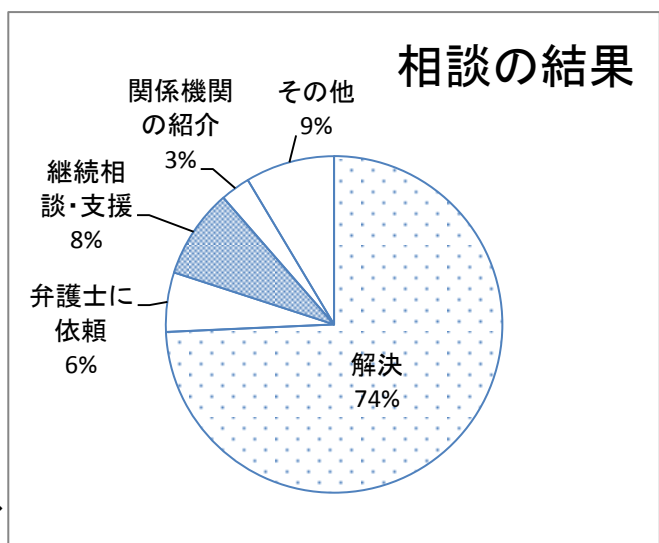
### 3. 法律相談の実施

ふだんのくらしの中での困りごとに、顧問弁護士が法律の立場から助言を行う無料法律相談を実施しました。あらかじめ職員が相談概要の聞き取りを行い、法律的な助言を得たい点を整理します。相談時も職員が同席し、相談者にとって有効な時間となるよう支援を行いました。

- ・相談件数 35件(平成26年度32件)

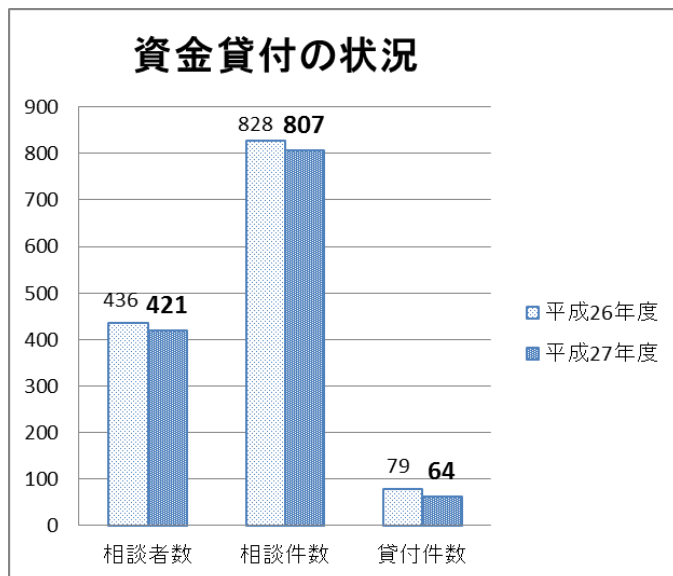
#### 【相談概要】

- ・遺産相続に関すること 8件
- ・離婚に関すること 6件
- ・借金に関すること 5件
- ・近隣トラブルに関すること 2件
- ・財産の処分に関すること 2件
- ・パワーハラスメント、通信販売トラブル、土地の処分、障害年金の受給、家主から強制退去を言われた、養子縁組等



#### 4. 生活福祉資金・小口貸付資金による生活支援

低所得世帯を対象に、一時的に資金が必要となった方に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、安定した生活を送れるよう支援しました。



- ・資金の貸付を目的とせず、相談者の課題を明らかにし、その他の手段(食糧支援、家計の見直し、法律相談など)をもっても解決できない時に、貸付を行いました。
- ・その日の生活に困っている方からの相談が多いため、緊急に対応ができる本会独自の小口貸付資金の利用が多くなっています。

#### 生活福祉資金(年度比較)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		前年度比較	
生活福祉資金	51件	16,965,450	49件	15,501,000	24件	17,979,000	△25件	2,478,000

#### 小口貸付資金(年度比較)

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		前年度比較	
貸付資金	58件	850,070	30件	898,000	40件	1,055,000	10件	157,000
償還金	170件	951,000	197件	1,279,570	181件	1,192,200	△16件	△ 87,370

#### 5. 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症・精神障がい・知的障がいのある方に、福祉サービスの利用援助や金銭管理等の援助を行うことで自立した生活を送れるよう支援しました。

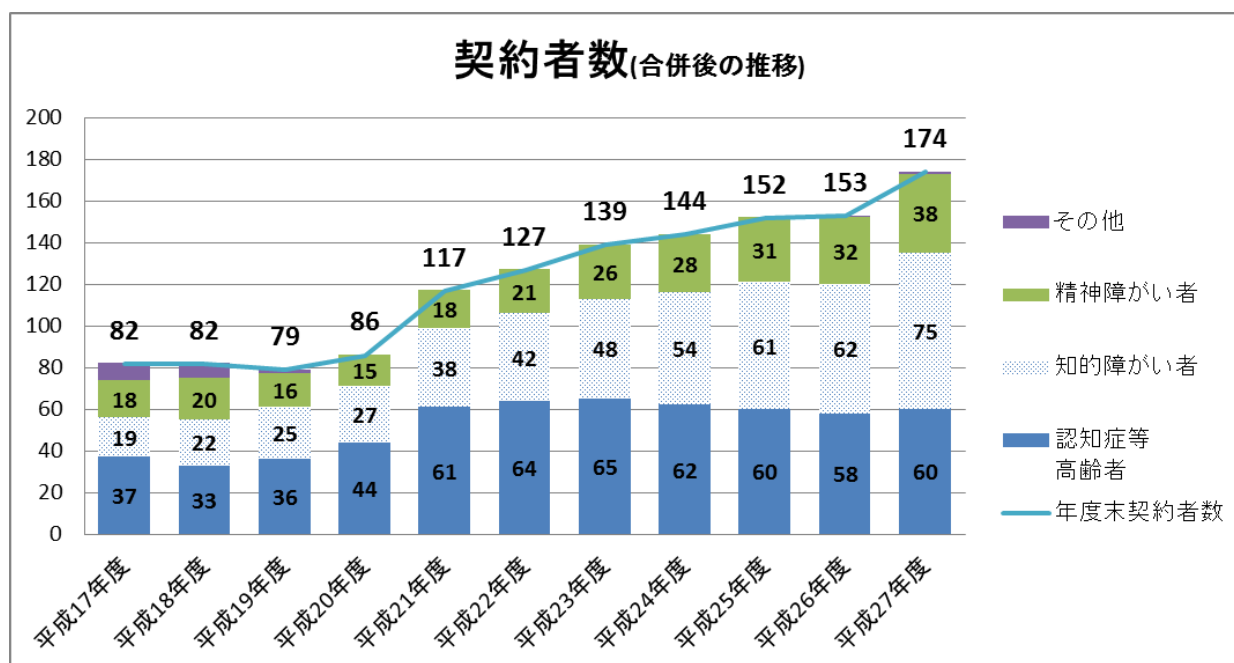
## 契約状況

	新規契約 (件)	終了 (件)	契約者数 (人)
認知症等 高齢者	16	14	60
知的障がい者	14	2	74
精神障がい者	8	1	39
その他	0	0	1
合計	<b>38</b>	<b>17</b>	<b>174</b>

## 相談件数

	新規相談 (件)	相談援助 (件)
認知症等 高齢者	84	3,203
知的障がい者	23	4,493
精神障がい者	3	2,523
その他	2	23
合計	<b>112</b>	<b>10,242</b>

- ・ 認知症等高齢者の新規相談件数に対し、新規契約件数が少ない理由は、相談時に契約能力が低下していることが多く、成年後見制度につなぐケースが多いためです。
- ・ 新規契約のうち、知的障がい者が増加傾向です。
- ・ 経済的に困窮しておられる方を対象にした生活困窮者自立支援制度が施行されました。相談者の中には手帳をもたない障がいの疑いのある方(発達障がい等)からの相談もあり、相談者の判断能力に応じて連携をしました。
- ・ 事業の問い合わせや新規相談も多く、契約者数も増加の一途です。今後の事業のあり方について、県や市と継続的な協議が必要な状況です。



## 6. 成年後見制度の周知

法的に権利を守るための成年後見制度を周知し、必要な方が適切に利用できるよう支援しました。

その他

## 7. 子どもへの学習支援

生活困窮世帯の子どもたち（主に中学生）を対象に、貧困の世代間連鎖を断ち切るため、居場所と学習の場を設けました。子どもたちにとって年齢の近い大学生をボランティアスタッフとして、市内3会場で実施しました。冬休みには、「勉強したい」という子どもたちの声から特別講座を設けました。

学習するだけでなく、季節の行事を取り入れ、自分たちの「やりたいこと」を仲間や周りの大人と一緒に実施することを通して、仲間と協力して実施する楽しさを知り、人とのやり取りを学び、生活習慣や社会性を身に付ける機会を設けました。

また、参加する子どもだけでなくその世帯全体を支えるという視点を持ち、行政や学校などその世帯に関わる関係機関と連携しながら支援しました。

- ・ 関係機関との検討会議 4回
- ・ ボランティアスタッフミーティング 3回
- ・ 支援調整会議（新規参加者の受け入れ検討会議） 5回
- ・ ケース会議への出席 12回
- ・ 参加児童への訪問 4回

### ○会場参加状況

会場	対象中学生高校生		学生ボランティア		開催回数
	登録数	延べ人数	登録数	延べ人数	
八日市	9(6) 人	278(237) 人	8(8) 人	139(207) 人	51(50) 回
五個荘	13(7) 人	83(136) 人	5(5) 人	120(156) 人	48(47) 回
御園	4 人	15 人	5 人	10 人	5 回
冬休み 特別講座	22(13) 人	37(19) 人	13(13) 人	18(16) 人	6(6) 回

( ) 内 26年度

### ○会場合同行事

内 容	日程	中高生	学生ボランティア	その他
バーベキュー	10/3	8人	7人	1人 (主任児童委員)
もちつき大会	12/13	6人	3人	—



学習支援会場での様子

バーベキューの様子

## 8. 家計相談支援事業の実施

国の「生活困窮者自立促進支援事業」の自立相談支援事業や就労支援などと連携し、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却できるよう、「家計」を入口に支援をしました。

- ① 相談者とともに家計表を作り、家計の状況を「見える化」し、相談者自身に課題への気づきを促し、家計管理の重要性を認識してもらう
- ② 計画的なお金の使い方や家計の範囲を理解して支出の優先順位がつけられるよう家計表を作成し、相談者の生活に合わせた家計のやりくりを助言しながら、家計管理能力を高める
- ③ 多重債務がある場合は、弁護士や司法書士と連携し債務整理ができるよう、法的な手続きの支援や債務整理に必要な月々の収支報告書等の作成を支援
- ④ 家計収支の改善を図るために、必要に応じて関係機関による適切な支援が受けられるよう調整する

### 家計に関わる相談

相談経路 人数・支援内容		自立相談支援事業		合 計
		家計相談支援事業のプランあり	家計相談支援事業のプランなし	
支援者数(実人数)		10名	11名	21名
支援方法	訪問・来館	105	27	132
	電 話	80	34	114
支援内容	家計表の作成 キャッシュフロー表の作成など	30	13	43
	支援機関との連絡調整	37	34	71
	支援調整会議	13	8	21
合 計		265	116	381

家計相談支援事業が自立支援プランに位置づけられない方については、自立相談支援事業との情報共有を主とした支援になっています。

## 9. S & S (スマイル・スタンド)

様々な相談に対応する中で、自己有用感がない、相談できる人がいない、コミュニケーションが苦手・・・など、表出している問題以外の課題を抱えている方が多くおられ、問題を解決するためには、相談者がもっている力に働きかけをしていくことが必要になってきます。

社会に参加する‘きっかけ’や‘居場所’として参加できるプログラムから、自分の不得手を知るための‘作業’、作業工賃のもらえる‘仕事’まで、多様なプログラムを準備し、自信をもってもらったり、‘働く’ことを考えたり、一人ひとりのステージに合わせた参加ができる中間就労の場としてS & Sを実施しました。



・実施回数 38回、 参加者実人数 20名

作業形態	プログラム内容	実施回数
屋外作業	野菜づくり	8
	キャベツの収穫	1
	Food Day25	7
	福祉施設のペンキ塗り	2
事務的作業	ダイレクトメールの封入	6
	善意銀行への協力	1
	赤い羽根共同募金の封入	2
イベント系	聖徳まつりの提灯つり	1
	善意銀行のイベント協力	2
	二五八祭 エコステーション	1
職場体験	季節商品の下請け	8

活動の場を地域住民の方や八日市商工会議所・市役所(まちづくり協働課・商工労政課)などから提供していただき、地域に活動の場が広がっています。

- ・参加者の平均年齢は 37.7 歳。16 歳から 71 歳の幅広い年齢層の方が参加されています。
- ・参加者のうち 7 名の方がアルバイトやパートなど、就労につながっています。



作ったサツマイモの収穫



ダイレクトメールの封入

## 10. Food Day 25 (フード デイ 25)

今日・明日の食事に困っている方や、数日間食べていない方に‘年末を安心して迎えていただきたい’との思いで‘Food Day25’を開催しました。

今年度は、S&S のメンバーが企画・運営をしました。

たくさんのご協力をいただき開催することができました。ありがとうございました。



- ・ 7月24日 配布世帯 13世帯 主に畑で収穫できたじゃがいもや善意銀行にご寄附いただいたお米を配布。
- ・ 12月25日 配布世帯 76世帯 年越しそば、ポン菓子、おにぎり等を会場で配布。また、善意銀行にご寄附いただいた、カップ麺や日用品、お米、野菜等を配布。

## ② 暮らしを支える取り組みの推進

困ったことがあっても地域で安心して暮らしていけるよう、一人ひとりの暮らしを支える取り組みをすすめました。

### 1. 生活支援サポーターの養成

生活する中での困りごとに気づき、支援する人づくりを目的に講座を開催しました。また、既に活動されているグループへの活動支援や、活動の立ち上げ支援を行いました。

- ・ 生活支援サポーター養成講座の開催 3会場 12回 参加者延 331名
  - 玉 緒会場 4回 参加者42名 参加者延104名
  - 五個荘会場 4回 参加者45名 参加者延141名
  - 湖 東会場 4回 参加者27名 参加者延86名

#### ・ 生活支援サポーターの活動支援

地区	活動名	コーディネート内容など
玉 緒	生活支援サポーター講座受講者懇談会	懇談会開催
御園	ちょこっとサポートみその	懇談会出席、相談対応、活動調整、資料準備、視察調整、つどい関係調整
建部	生活支援サポーター懇談会	懇談会出席、相談対応、資料準備
中野	たすけあい中野	懇談会出席、相談対応、活動調整、資料準備、設立調整
八日市	生活支援サポーター	会議調整・出席、相談対応
永源寺	生活支援サポーター絆	懇談会出席、相談対応、活動調整、個別訪問、資料準備、視察調整、研修調整・同行
五個荘	生活支援サポーター講座受講者懇談会	懇談会開催
湖東	生活支援サポーター講座受講者懇談会	懇談会開催
能登川	ちょこっとサポートのとながわ	懇談会出席、相談対応、活動調整、個別訪問、
蒲生	生活支援サポーターコスモスの会	会議出席、相談対応、活動調整、個別訪問
	おしゃべりコーディネーター蒲生会議	会議出席、相談対応
	長峰北生活サポート隊	会議出席、相談対応
	長峰西生活サポート隊検討会議	会議出席、相談対応



生活支援サポーター養成講座  
五個荘会場



ちょこっとサポートのとがわ

## 2. 住民による見守り訪問活動の支援

見守りが必要な方への訪問による安否確認や、小さな変化に気づく住民の活動を支援し、地域の見守り活動を実施しました。

- ・給食サービス、友愛訪問・ひとり暮らし高齢者安否訪問

対象者 844名（平成26年度 839名）  
 実施回数 262回（平成26年度 203回）  
 延べ人数 13,451名（平成26年度 13,046名）



## 3. 専門職同士の連携強化

専門職同士が互いの専門性を活かし、制度やサービスのはざまにある暮らしの困りごとや地域に必要な社会資源などについて話し合い、一人ひとりの支援を実施しました。

地区	活動名	コーディネート内容など
玉緒	せきすい 認知症関係講座	講座周知、備品準備調整
建部	あったかネット訓練	世話人会・勉強会・説明会・訓練参加
永源寺	チーム永源寺	相談対応、会議出席
五個荘	てんびん倶楽部（チーム五個荘）	相談対応、会議出席、会議開催調整
愛東	愛東版三方よし	懇親会出席
八日市 8地区	ミニ三方よし	立上げ検討会議出席、相談対応

## 4. 地域見守り会議の開催

支援を必要とする人が地域で安心して暮らしていけるよう、民生委員・児童委員など見守り活動を進める住民と専門職などが困りごとの解決に向け一緒に話し合う場を実施しました。

地区	活動名	コーディネート内容など
市辺	認知症の人への見守り、声かけ訓練	研修会・訓練開催支援（研修調整、マニュアル作成）
御園	神田町くらしの応援つながり見守り会議	相談対応、会議出席
	勝見見守り活動検討会	相談対応、会議出席
永源寺	上二俣町・池之脇町・松原住宅見守り会議	相談対応、会議出席
五個荘	山本町見守り検討会、山本町ワンコインカフェ、認知症徘徊者早期発見・保護訓練	相談対応、会議開催調整、会議出席
能登川	関係団体見守り等ネットワーク会議	会議出席
	認知症徘徊者早期発見声かけ訓練見守りネットワーク会議	説明会・会議出席

## 5. 善意による寄付や募金の有効活用（善意銀行、赤い羽根共同募金）

○善意銀行に寄付された金品を市民の福祉向上のために活用しました。

歳末たすけあい募金運動による激励訪問	245 世帯	2,615,000 円
災害見舞金事業の実施（善意銀行）	8 件（火災）	80,000 円
緊急用食料品給付事業	49 世帯	66 袋

<預託>

- ・金銭預託

	平成 26 年度		平成 27 年度	
一般寄付金	114 件	3,204,808 円	101 件	1,731,434 円
指定寄付金	30 件	975,427 円	28 件	1,097,600 円
自販機設置手数料収入	24 件	212,404 円	25 件	224,824 円

- ・物品預託 お米、食料品、衣類、タオル、リハビリパンツ、野菜等

滋賀  
第一交通(株)  
車いすの寄付

→



農業組合ドリー  
ムファーム北菩  
お米の寄付→



- ・リサイクル預託

使用済み切手	59 件	使用済みテレカ	2 件
アルミ缶	8 件	牛乳パック	2 件
書き損じハガキ	3 件	ペットボトルキャップ	19 件
ベルマーク	3 件		

<預託金品等の効果的な払い出し>

- ・金銭払出 27 件 991,576 円

主な払出先 地区社協(11 件)、福祉電話(12 件)  
指定助成金支出(4 件)

- ・物品払出 主な払出先 生活困窮世帯、学童保育所、介護事業所  
介護サービス利用者

## 6. 社会福祉調査の実施

住基情報だけでは把握できない、支援を必要とする方々の実態把握を目的に、民生委員・児童委員と協働して実施しました。また、情報の個別台帳化を検討し、研究機関と共同開発したシステムを導入しました。

## 住民が主役の活動のサポート

### ③ 小地域福祉活動の支援

誰もが安心して暮らしていくために住民自らに取り組む見守り、支え合い活動を支援しました。

#### 1. 小地域福祉活動プログラムの提示

職員が自治会や福祉委員会へ出向き、地域性や住民性、現状や課題から、それぞれの地域の状況に応じた活動プログラムを提示し、住民に身近なエリアでの福祉活動を支援しました。

- ・サロンへの活動支援           601回 (H26年度 503回)
- ・自治会活動支援               237回 (H26年度 269回)

#### ○サロンへの活動支援（相談対応・打合せ）

地区	件数	のべ回数
平田	13	13
市辺	18	33
玉緒	12	13
御園	25	50
建部	17	20
中野	12	24
八日市	30	50
南部	24	42
永源寺	12	14
五個荘	44	59
愛東	7	9
湖東	32	37
能登川	126	152
蒲生	60	85
合計	432	601

#### ○自治会活動支援（相談対応・活動調整など）

地区	件数	のべ回数
平田	4	4
市辺	8	28
玉緒	4	4
御園	15	40
建部	6	14
中野	10	21
八日市	2	3
南部	3	6
永源寺	9	11
五個荘	21	27
愛東	—	—
湖東	9	10
能登川	38	49
蒲生	17	20
合計	146	237



## 2. サロン活動への助成支援(財源 市委託金・社協会費)

ふれあいサロン助成（市社協）とあったかサロン助成（市委託）や、運営・立ち上げへの支援を行いました。また、サロン助成事業を統一化し、平成28年度からの新要綱の説明および周知を行いました。

	あったかサロンづくり事業補助		
平成26年度	122ヶ所	1,236回	8,007,974円
平成27年度	117ヶ所	1,307回	7,722,214円

	ふれあいいいききサロン助成		
平成26年度	104ヶ所	782回	5,133,600円
平成27年度	110ヶ所	820回	5,271,000円

- ・ニコニコ健康づくり&コミュニケーションゲーム講習会 全4回 参加者延 114名
- ・しあわせホームボランティア交流会 1回 参加者延 54名



「ニコニコ健康づくり&コミュニケーションゲーム講習会」



八日市地区  
「とんとん茶〜来る」



建部地区  
「ちょっときて Cafe」



御園地区  
「野村町なかよしサロン」



南部地区  
「沖野団地ふれあいサロン」

## 3. 子どもの遊び場遊具への助成(財源 共同募金)

子どもたちが安心して安全に遊べるよう遊具の新設・修繕に助成を行いました。

	平成26年度		平成27年度	
新設	2件	263,400円	0件	0円
補修	10件	346,000円	8件	347,600円





#### 4. 飛び出し人形設置の支援(財源 共同募金)

交通事故から子どもの命を守るための注意喚起として、飛び出し人形の設置を支援しました。



平成 26 年度		平成 27 年度	
71 自治会	71 体	67 自治会	67 体

### ④ ボランティア活動の支援

住民が気軽にボランティア活動へ参加できる取り組みをすすめるとともにその活動を支援しました。

#### 1. ボランティアセンターのあり方を検討

東近江市で求められる「ボランティアセンター」機能の充実と強化を図るため、ボランティアセンターのあり方について検討を行いました。

- ・ ボランティアセンターのあり方検討会の準備会 1 回
- ・ 先進地ボランティアセンター視察 2 回 (西宮市、宇治市)



ボランティアセンターあり方検討会の準備会



先進地視察 (西宮市)

#### 2. ボランティア活動の支援

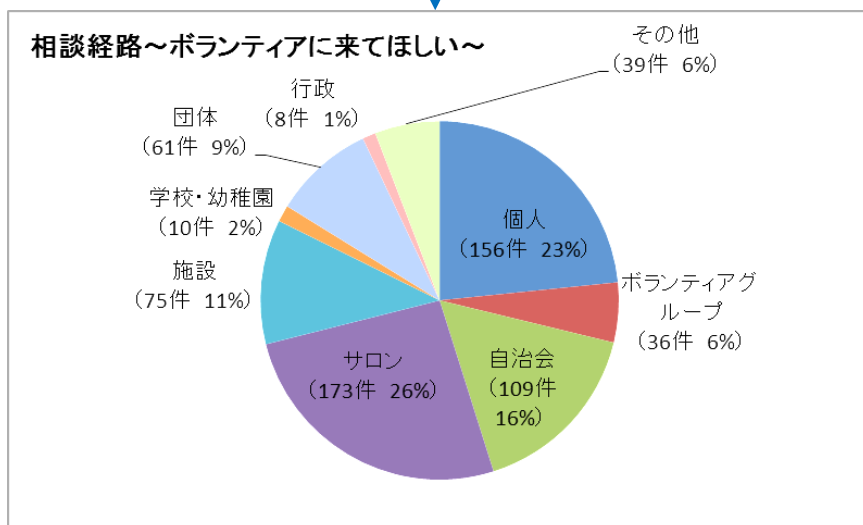
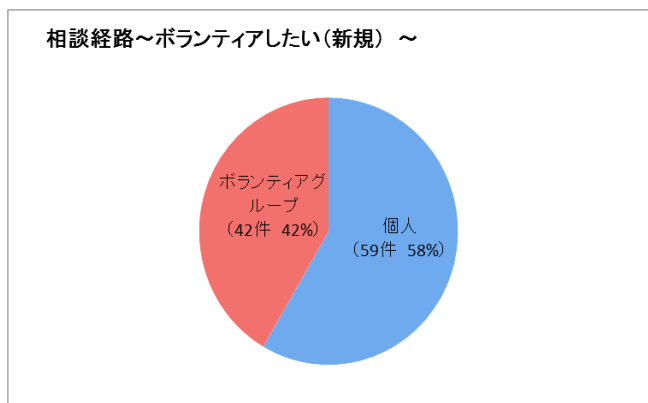
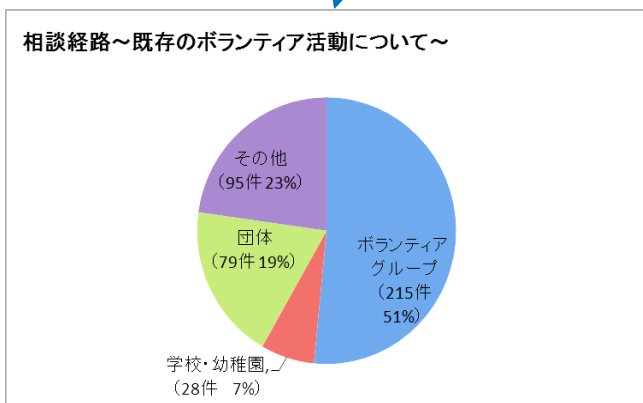
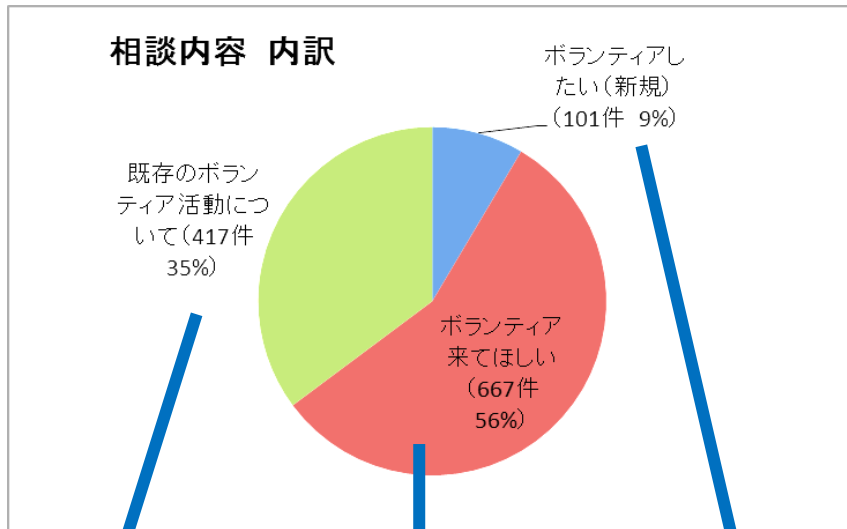
住民のボランティア活動へのきっかけやづくりや、活動中のボランティア活動を支援しました。また、ボランティアをしたい人と、その力を必要とされている人をつなぎ、活動の調整を行いました。

区 分	登録 グループ数	登録人数	登録外把 握グループ数	登録外 把握人数
個人ボランティア		42 人		2 人
ボランティアグループ	91 グループ	1,115 人	12 グループ	150 人
合計	91 グループ	1,157 人	12 グループ	152 人

- ・ ボランティア保険の加入
  - 活動保険 232 件 3,842 名  
(内天災タイプ 18 件 460 名)
  - 行商用保険 67 件 5,971 名
- ・ ボランティア 相談・問合せ 1,185 件 (平成 26 年度 915 件)

○相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	178	133	59	63	74	104	71	102	83	86	87	145	1,185



### 3. ボランティアグループへの活動助成（赤い羽根共同募金）

ボランティア活動がより活発に展開されるよう助成事業を行いました。

- ・ボランティアグループ助成 37 グループ 707,052 円

### 4. 災害ボランティア活動の推進と支援体制づくり

東近江市総合防災訓練の参加機関担当者会議に参画し、災害ボランティアセンターの解説運営訓練を実施しました。訓練では、民生委員・児童委員と連携し一人暮らし高齢者を訪問し、安否確認・ニーズ聞き取りを行いました。また、関係団体、機関との連携訓練として、福祉事業所からのニーズ受付、無線倶楽部と連携し災害避難所からの無線機を使ったニーズ受付を行いました。他に、ボランティア受付、ニーズとボランティア情報の提供、災害ボランティア活動の啓発を行いました。

- ・災害ボランティアセンター開設運営訓練の実施 1 回  
参加者：民生委員・児童委員、探検の殿堂無線倶楽部、福祉施設、  
ボランティア、パブリックアクセス推進協議会、高齢者 116 名  
参加職員 36 名



ボランティア受付の様子



ニーズ受付の様子



無線倶楽部との連携の様子

## ⑤ 当事者活動の支援

同じ関心を持っている人、共通した課題を抱えている人など当事者同士が気軽に集い、仲間づくり、居場所づくりを支援しました。

### 1. 当事者が互いにつながる場づくりの支援

- ・八日市スプリングホリデー支援 全5日

### 2. シニア世代の「仲間づくり講座」の開催

シニア世代の方々へ仲間づくりのきっかけとなる場を提供し、地域の活動等に関心を持てる機会をつくりました。

全5回シリーズ 参加者18名 延べ83名(H26年度 参加者9名 延35名)



仲間づくり講座の  
様子



### 3. 障がい児サマーホリデーの実施（市委託事業）

保護者、ボランティア、行政と協働して、夏休み期間中、障がいを持つ子どもたちが集い、遊びを通して住民とふれあえる場を提供しました。

6会場 各17日（延実施日数 102日）

参加登録児童	113名	（平成26年度	122名）
参加者延	973名	（平成26年度	1,034名）
ボランティア延	1,630名	（平成26年度	1,512名）
サマーの会打合せ会議			6回
指導員リーダー打合せ会議			7回
指導員研修会			3回
指導員・サマーの会合同会議			2回



愛東・湖東会場  
調理体験



八日市会場  
記念品づくり



保護者ふりかえり会

### 4. 障がい児親子サロンの実施（市補助事業）

障がいを持つ子どもとその家族が集い、交流と情報交換の場をボランティアと協働して実施しました。

障がい児親子サロン 1会場11回

登録児童	25名	参加者延	143名	(H26年度 登録25名 延143名)
登録児童の家族		参加者延	135名	(H26年度 延135名)
ボランティア	13名	参加者延	41名	(H26年度 登録13名 延41名)

### 5. おもちゃ図書館の開催

子育て中の親子がおもちゃ遊びを通じて気軽に集い、情報交換とつながりづくりの場の提供とサークルの支援を行いました。

	開催回数・件数	参加者延人数
おもちゃ図書館	67回(58回)	1216名(1127名)
移動おもちゃ図書館	16回(13回)	408名(322名)
おもちゃの貸し出し	217件(247件)	

( ) 内26年度

## 6. 児童センターの運営（市委託事業）

乳幼児の親子から小中高生まで、幅広い年齢の子どもたちに遊び場の提供を行いました。

		開催回数・件数	参加者延人数
遊びを通した日常的な関わりの中での児童や保護者からの相談		79件(75件)	
自由来館(遊び場の提供、遊びの指導)			10001名(9221名)
親子サロン	まめっこサロン	15回(11回)	831名(551名)
	ぽかぽかサロン①②	30回(22回)	997名(836名)
夏休みクラブ活動	折り紙教室	2回(2回)	152名(166名)
	手作り教室(前年度なし)	1回	27名
	サイエンスクラブ	2回(2回)	98名(55名)
サイエンスクラブ		10回(10回)	103名(145名)
児童センターだより発行		2回(2回)	

( )内 26年度

## 7. 母子・父子福祉センターの運営（市委託事業）

ひとり親家庭、寡婦の方の自立と生活の安定をはかるため、様々な講座の開催や交流、相談等を行いました。

- 母子・父子および寡婦の家庭生活の安定と自立の促進を図る各種相談
- 母子福祉推進員会、母子福祉のぞみ会の会議参加、事業協力

### ・教室、イベント等の開催

	開催回数		参加者延人数	
親子バス旅行	1回(1回)		44名(44名)	
パソコン教室(前年度なし)	3回		6名	
手芸教室(新規開催)	4回		41名	
親子交流会	2回(3回)	親子で陶芸	26名	計40名 (32名)
		おやつ作り	14名	
おしゃべり会	1回(1回)		7名(7名)	
サークル活動の場所提供(生け花サークル)	12回		120名(125名)	

( )内 26年度



## 8. 老人福祉センターの運営（市委託事業）

高齢者の健康増進や教養の向上、生きがいつくりの場を提供するため、講座の開催や交流等を行いました。

	開催回数	参加者延人数
自由来館(囲碁)		367名(333名)
サークル活動の場所提供	61回	6団体 1395名(1665名)
パソコン教室	9回(8回)	81名(66名)
寄せ植え教室	2回(2回)	42名(22名)
陶芸教室	3回(3回)	32名(28名)

( )内26年度



児童センター  
ぽかぽかサロン



母子父子福センター  
陶芸教室



老人福祉センター  
寄せ植え教室

## つながりづくりと連携・協働の推進

### ⑥ 地域の福祉を支える人や団体の連携・協働

地区社会福祉協議会（以下地区社協という）をはじめとする住民組織の活動を支援しました。

#### 1. 地区社協の活動支援（14地区社協連絡会の開催）

各地区の地域性に合わせた活動となるよう地区社協の活動を支援しました。

- ・14地区社協連絡会 1回 参加者延 23人
- ・地区社協への運営費・事務局設置費助成
 

会費による事務局助成	7地区	1,508,738円
会費による運営助成	14地区	1,828,622円
- ・地区社協への事業費助成
 

赤い羽根共同募金による助成	8地区	679,500円
歳末たすけあい募金による助成	7地区	362,400円
善意銀行による助成	11地区	701,464円



14地区社協連絡会



## 2. 地区社協との連携

地区社協と連携し、それぞれの地域の状況や、目指す方向に沿った地域福祉をすすめました。

地区	内容	コーディネート内容など
平田	見守り支援事業、助成事業、活動支援、役員会、健康講座	相談対応、会議出席
市辺	助成事業、活動支援、役員会	相談対応、会議出席、助成申請支援
玉緒	見守り支援事業、助成事業、活動支援、役員会、歳末たすけあい事業	相談対応、会議出席
御園	見守り支援事業、住民福祉活動検討委員会、助成事業、活動支援	相談対応、助成申請支援、情報提供、資料提供、調整、打合せ、検討委員会参加
建部	見守り支援事業、助成事業、活動支援、あったかネット世話人会、あったかネット訓練、東日本大震災義援金	相談対応、会議出席、助成申請支援、訓練実施支援
中野	見守り支援事業、助成事業、活動支援、視察研修	相談対応、研修調整
八日市	四役会、常任理事会、広報委員会、活動支援、一人暮らし老人交流のつどい、広報委員会、見守り支援事業、助成事業、活動支援、研修	相談対応、会議出席、打合せ、研修調整
南部	見守り支援事業、助成事業、活動支援、給食ボランティア総会、常任理事会、子どもひろば、障がい者への理解を深めるつどい	相談対応、会議・つどい出席
永源寺	助成事業、主催事業、協賛事業支援、命のバトン、三役会、理事会、常任理事会、広報編集会議、えんがわ喫茶、親子手づくり教室、見守り活動推進会議、歳末おせち料理お届け・友愛訪問事業	相談対応、会議出席、助成申請支援、研修調整、視察受け入れ、研修調整
五個荘	見守り支援事業、助成事業、活動支援、自治会福祉推進連絡会、役員会、事業部会、総務部会、広報部会、福祉委員研修会、福祉委員代表者会議、てんびんの里わくわく広場、福祉人権のつどい、交流研修	会議出席、事務局打合せ、会議準備、研修調整
愛東	助成事業、活動支援、広報発行支援、理事会、三役部会長会、会費、あいとう夏まつり、じゅぴあまつり、交流研修、組織体制検討会議、	相談対応、会議出席、広報情報提供、研修調整
湖東	見守り支援事業、助成事業、活動支援、広報発行支援、理事会、高齢者市内見学、福祉推進委員研修会、湖東ふるさとまつり、歳末おせち配食事業	相談対応、会議出席、広報情報提供、事業打合せ
能登川	助成事業、活動支援、理事会、評議員会、総務会計部会、研修部会、広報部会、事業企画部会、役員研修、10周年記念事業実行委員会、レクリエーション講座、福祉のまちづくり講演会、歳末おせち料理配食事業	相談対応、会議出席、広報情報提供、研修調整
蒲生	助成事業、活動支援、本部役員会、役員会、広報、総会、歳末お楽しみ会、福祉と健康のつどい、生きがい教室、福祉のまちづくり講座、あかね福祉大会、身障更生会との交流、中学生懇談会、地区住民福祉計画推進	相談対応、会議出席、広報情報提供、研修調整、事業協力

### 3. 民生委員児童委員協議会との連携

住民の最も身近な支援者である民生委員・児童委員と連携し、見守り、助け合いのあるまちづくりをすすめました。

地区	内容	コーディネート内容など
平田	定例会、研修会、特別会費協力依頼、歳末激励金、広報紙	定例会出席、相談対応、研修先調整、広報校正
市辺	定例会、特別会費協力依頼、歳末激励金、互助共励、小学校懇談	定例会出席、相談対応
玉緒	定例会、研修会、にこにこ訪問支援、特別会費協力依頼、歳末激励金	定例会出席、相談対応、研修先調整
御園	定例会、特別会費協力依頼、歳末激励金	定例会出席、相談対応
建部	定例会、特別会費協力依頼、研修会、共同募金、募金激励金、広報紙	定例会出席、相談対応、研修先調整、広報校正
中野	定例会、研修会、特別会費協力依頼、歳末激励金、ママさんおしゃべり会、障がい児の保護者との懇談会	定例会出席、相談対応、研修先調整
八日市	定例会、にこにこ訪問支援、特別会費協力依頼、研修、歳末激励金	定例会出席、相談対応
南部	定例会、助成金、喫茶ボランティア支援、特別会費協力依頼、研修会、歳末激励金	定例会出席、相談対応、研修先調整
永源寺	定例会、研修会、特別会費協力依頼、共同募金、歳末激励金、幼稚園・小学校訪問、広報紙	定例会出席、相談対応、研修先調整、広報校正
五個荘	定例会、一人暮らし高齢者への運動会案内、特別会費協力依頼、歳末激励金	定例会出席、相談対応
愛東	定例会、研修会、特別会費協力依頼、学校訪問、歳末激励金	定例会出席、相談対応、研修先調整
湖東	三役会、定例会、研修会、特別会費協力依頼、歳末激励金	定例会出席、相談対応、研修先調整
能登川	定例会、代議員会、研修会、特別会費協力依頼、見守り支援事業、歳末激励金	定例会出席、相談対応、研修先調整
蒲生	定例会、特別会費協力依頼、研修、共同募金、歳末激励金、広報誌、ほっとたいむ	定例会出席、相談対応、研修先調整、広報校正

### 4. まちづくり協議会・NPO法人・市民活動団体等との連携

まちづくり協議会・市内のNPO法人・市民活動団体と情報を共有し、連携を図りました。

地区	内容	コーディネート内容など
平田	雪野山まつり	相談対応、調整
	認知症カフェ	相談対応
建部	建部自治会連合会研修	研修先調整
八日市	社協サロン助成について、八日市つながりプロジェクトの位置づけについて	相談対応、助成金説明
南部	拡大運営委員会、命のバトン	住民福祉活動計画・命のバトンについて説明、相談
	八日市南小学校PTA	講師紹介
永源寺	女性部会	活動支援
	みんなのふるさと祭り&特産品フェア	会議出席、会議準備、事業参加

五個荘	五個荘地区総合防災訓練	相談対応、訓練参加
	あんしんサポート委員会	委員会出席
愛東	愛東を語る会	会議出席
湖東	防災、茶話会	懇談、情報提供
能登川	まちづくり計画策定委員会	相談対応、会議出席
	老人クラブ連合会能登川ブロック	相談対応、打合せ
	能登川赤十字奉仕団一人暮らし高齢者のつどい、総会	相談対応、準備、事業参加
蒲生	地域抛り所創造事業	相談対応、会議出席、打合せ、研修会参加
	ボランティア連絡協議会、くすのき会	相談対応、会議出席

## 5. 異業種（福祉以外の団体・企業・商店）との情報共有

それぞれの取り組みや、互いの強み弱みを知る機会を持ち、互いの強みが活き、協働した福祉のまちづくりをすすめました。

## 6. 地域の福祉を支える人や団体の情報交換の場づくり

地区の中で自治会長、民生委員児童委員、福祉委員など地域の福祉を支える人や住民同士が情報交換し、つながり合える機会をつくりました。

地区	内容	コーディネート内容など
市辺	福祉協力員会議	会議出席、会議資料作成、
玉緒	福祉委員会	会議出席、打合せ
永源寺	福祉推進員・民生委員児童委員交流会	資料準備、調整
五個荘	福祉委員研修会、福祉委員代表者会議、	会議出席、会議準備、打合せ
愛東	福祉委員会交流会、曾根町福祉委員会、中戸町福祉委員会、鯉江町福祉委員会、愛東外町福祉委員会交流会、見守り会議、研修、助成金	会議出席、会議準備、打合せ
湖東	福祉懇談会、福祉推進委員研修会	相談対応、会議出席、打合せ、講師調整
能登川	桜ヶ丘福祉の会、伊庭町福祉推進会	相談対応、会議出席、視察研修調整・同行
蒲生	福祉のまちづくり講座	講座の共催、打合せ

## 7. 地域住民や市内の地域福祉活動を担う方々が集い、共に学び高め合う場づくり

全ての市民が福祉に対する理解と関心を深め、地域の支え合いを大切にし、住み慣れた地域において安心して生活が送れるよう、また一人ひとりが輝き、自らの能力を発揮し、健康で生きがいをもって豊かな社会生活を営むことができるよう「共に生き安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指して開催しました。

◎東近江市社会福祉大会の開催

○被表彰者選考委員会 9月 2日(水)

○平成27年度東近江市社会福祉大会

平成27年10月16日(金)

東近江市五個荘コミュニティセンター 参加者約 300名

〈式典〉

- ・東近江市きらめき大賞【市委託】 3件(3団体)
- ・東近江市共同募金委員会長感謝 23件(23団体)
- ・東近江市社協会長表彰 44件(42名・2団体)
- ・東近江市社協会長感謝 36件(9名・17団体)



社会福祉大会の様子

〈募金百貨店プロジェクト合同調印式〉

募金百貨店プロジェクト調印企業

- ・久田工芸
- ・Mahorova
- ・有限会社池田牧場
- ・魚繁大王殿
- ・めがね工房テラダ



合同調印式の様子

〈シンポジウム〉

「なんか気になる…なんかしたい」が<sup>まち</sup>地域をよくする第一歩

コーディネーター

桃山学院大学 副学長 社会学部教授 松端 克文 氏

シンポジスト

五個荘山本町 福祉委員 安居 道子 氏

BENTO. 代表 上原 知子 氏

NPO 法人 加楽 所長 楠神 渉 氏



社会福祉大会シンポジウムの様子

## 8. 各種団体への助成事業の見直し

共同募金が適切に助成事業に活用できるよう、審査委員による助成事業内容の審査を行いました。また、助成を受けた団体からのメッセージを寄附者にも発信しました。

〈共同募金助成事業審査委員会〉

	期日	審査・検討内容
第1回	平成27年7月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアグループ助成事業(赤い羽根共同募金)</li> <li>地区社協地域交流事業助成(赤い羽根共同募金)</li> <li>福祉団体助成事業(赤い羽根共同募金)</li> </ul>
第2回	平成27年11月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協地域歳末たすけあい事業(歳末募金)</li> <li>歳末たすけあい募金助成事業(歳末募金)</li> <li>歳末たすけあい激励金について(歳末募金)</li> </ul>

## ⑦ 情報発信と共有でつながりづくり

いろいろな取り組みや人とのつながりの中でアンテナを張り、情報を収集し、集まった情報を発信することで、人と人、人と活動をつなげることに取り組みました。

### 1. 広報誌『ひがしおうみ社協だより』の発行、ホームページの充実など

地域の人や活動等、身近な記事を掲載した広報誌の発行を行いました。また、タイムリーな情報を常に発信できるホームページの作成に取り組みました。

広報誌名	発行回数／部数／配布方法		
「ひがしおうみ社協だより」	6回	38,300部	新聞折込
「能登川地区福祉だより」	6回	8,200部	各戸配布(能登川地区)
「せせらぎ通信」	1回	4,950部	新聞折込(蒲生地区)



# 地域愛・学び合いですすめるまちづくり

## ⑧ “わが<sup>まち</sup>地域” への想いが実感できる福祉教育の推進

人や自然とのつながりの中で生きていることや、命の大切さに気づく機会を地域の方々と一緒につくり、地域愛や思いやりの心が育つ地域づくりをすすめました。

### 1. 住民による懇談会の開催

自治会や地区など自分の暮らす地域をよくしていくため、懇談会やつどい、福祉講座を開催しました。

地区	内容	対象	回数	人数
永源寺	交流会『輪つなぎ』	民生委員、絆、福祉推進員、医療福祉専門職	2	117
五個荘	五個荘地区自治会推進連絡会	自治会長、民生委員、福祉委員、五個荘地区社協理事	1	91
湖東	湖東地区福祉懇談会	自治会長、民生委員、福祉推進委員、湖東地区社協理事	1	128
能登川	能登川地区学区別福祉懇談会	自治会長、民生委員、のりがわ福祉の会理事、評議員	3	146
東近江市	障害児について理解を深める学習会	一般市民、サマーホリデー関係者、民生委員	1	83



永源寺地区  
交流会「輪つなぎ」



五個荘地区  
「自治会推進連絡会」

### 2. “わが<sup>まち</sup>地域” を感じる福祉教育の推進

子どもたちが、さまざまな体験や地域に目を向けて話し合うことを通して、“わが<sup>まち</sup>地域”を意識して学習できる福祉教育を地域住民や学校と一緒にすすめました。

福祉教育（市内小中学校への出前講座）

学校 99件（平成26年度 107件）

回数延 138回（平成26年度 119回）

参加者延 5,036名（平成26年度 4,307名）

相談・問い合わせ・コーディネート 358件（平成26年度569件）



能登川北小学校「車椅子体験」



玉緒小学校「手話体験」



愛東北小学校「視覚障害者学習」

### 3. 米寿記念写真の贈呈、掲額の実施

長寿を祝い年長者を敬う心を育くむ取組みとして、米寿を迎えられる方々の写真を撮影、掲額し贈呈しました。

撮影・掲額・贈呈 298名（平成26年度 269名）

## ⑨ 若者が活躍できる機会づくり

若者たちが「地元が好き！」と思えるまち、「このまちで暮らしたい！」と思えるまちづくりに取り組みました。

### 1. 5年後、20歳の子ども懇談会の開催（中学生懇談会）

子どもたちが地域やまちづくりについて話し合う場づくりとして、中学生懇談会を開催しました。

地区	内容	対象	回数	人数
平田市辺	船岡中学校中学生懇談会	生徒会、平田ふくしのまちプラン推進委員会、市辺推進会議	1	32
五個荘	五個荘中学校中学生懇談会	生徒会、活動計画推進委員会	1	52
愛東	愛東中学校生徒会、福祉プロジェクト懇談会	生徒会、福祉プロジェクト	1	19
蒲生	朝桜中学校中学生懇談会	朝桜中学校生徒会、蒲生あかね福祉の会	1	34



朝桜中学校



船岡中学校

## 2. 若者が話し合う場づくり

若者がまちづくりや地域おこし、また働く場など、自分たちが住み続けることができるまちについて話し合う場をつくりました。

地区	内容	対象	回数	人数
愛東	愛東地区まち協若者のまちづくりプロジェクト	小～大生、青年団、20～30代、まち協	3	49

## 3. 高校、大学との連携

県内の大学と連携し、若者が地域活性化の取り組みや地域貢献できる機会を設けました。

- ・ワークキャンプ活動支援 1回（2泊3日）  
参加者延 13名
- ・大学へのボランティア協力の依頼訪問 3回  
（びわこ学院大学、花園大学）



ボランティア協力依頼  
（びわこ学院大学）

## ⑩ 地域福祉活動計画の推進

「東近江市地域福祉活動計画」が実効あるものとなるよう、住民を主体として計画の進行管理や推進、地区における取り組みへの支援をしました。

### 1. 東近江市地域福祉活動計画第二次計画策定に向けた取り組み

第一次計画策定のプロセスを振り返り、第二次計画策定をどのように進めていくか、市社協職員向けの学習会を開催しました。

- ・東近江市地域福祉活動計画第二次計画策定に向けた職員勉強会 2回

### 2. 「地区住民福祉活動計画」推進への支援

各地区それぞれ計画推進のために設けられる話し合いの場などへの参画を通し、各地区の状況に合わせた取り組みがされるよう支援しました。

地区	活動名	コーディネート内容など
平田	ふくしのまちプラン推進委員会、広報、三役会、実行委員会、中学生懇談会、先進地視察、交流会	会議出席、資料準備、相談対応、調整、広報記事作成
市辺	地区住民福祉活動計画推進会議、中学生懇談会、認知症研修、交流会	会議出席、資料準備、事前打合せ、開催
玉緒	計画推進会議	会議出席、会議調整、資料準備、事前打合せ、
御園	住民福祉推進会議	相談対応、サロン交流会調整
建部	たてべの福祉を語る場、コミセンサロン「ちよつときてcafé」	会議・サロン出席、資料準備、事前打合せ、「かわら版」作成



中野	地区計画の推進について打合せ、なかのよいまち推進会議	会議出席、資料準備、調整、開催
八日市	八日市つながりプロジェクト会議、イザ!フェス!八日市つながり防災ウォークラリー	会議出席、会議調整、相談対応、子どもサマーフェスティバル参加
南部	地区住民福祉活動計画推進支援	関係団体調整
永源寺	住めば都プラン推進会議	会議出席、資料準備、事前打合せ
五個荘	推進会議、自治会アンケート	会議出席、事前打合せ、
愛東	福祉プロジェクト、命のバトン推進委員会、中学生懇談会	会議出席、準備、連絡調整、事前打合せ、わくわくコラボ村発表支援
湖東	湖東プラン推進会議	会議調整・出席、事前打合せ
能登川	地区住民福祉活動計画推進支援	関係団体調整
蒲生	あかね福祉プラン推進支援	会議出席



平田地区  
「平田ふくしのまちプラン実行委員会」



八日市地区  
「つながり防災ウォークラリー」

## 基盤強化

### ⑪ 幅広く市民が参画できる組織運営・活動展開を図りました

#### (1) 会務の運営

社会福祉法人として適切で充実した運営をするため次の会務を行いました。  
〈正副会長会議の開催(三役会)〉

	期日	審議事項
第1回 三役会	平成27年 5月22日	理事会・評議員会提案事項について 一年間の予定と社協の懸案事項について 組織運営・課題についての協議
第2回 三役会	平成27年 9月25日	理事会・評議員会提案事項について
第3回 三役会	平成28年 1月22日	理事会・評議員会提案事項について
第4回 三役会	平成28年 3月24日	理事会・評議員会提案事項について

〈理事会、評議員会、監事会の開催〉

	期日	審議事項
第1回 理事会	平成27年5月27日	議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度事業報告について</li> <li>・平成26年度一般会計決算について</li> <li>・定款の一部変更について</li> <li>・評議員の交替に関し理事会の同意を求めることについて</li> <li>・社協の経営する施設の施設長選任について</li> </ul>
第2回 理事会	平成27年9月28日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業実施状況報告(4～8月)</li> </ul> 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分事項の承認を求めることについて 平成27年度一般会計補正予算について(第1号)</li> <li>・平成27年度一般会計補正予算について(第2号)</li> <li>・第三者委員の委嘱に関し理事会の同意を求めることについて</li> <li>・特定個人情報の適正な取り扱いに関する規程の制定について</li> </ul>
第3回 理事会	平成28年1月27日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度事業実施状況報告(9～12月)</li> <li>・給与規程一部改正について</li> </ul> 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・専決処分事項の承認を求めることについて 平成27年度一般会計補正予算について (第3号、第4号)</li> <li>・平成27年度一般会計補正予算について(第5号)</li> </ul>
第4回 理事会	平成28年3月28日	議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度補正予算について(第6号)</li> <li>・平成28年度事業計画について</li> <li>・平成28年度一般会計予算</li> <li>・定款施行細則の全文改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・事務局及び職員に関する規程の全文改正について</li> </ul> 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公印規程の全文改正について</li> <li>・給与規程の一部改正について</li> </ul>
第1回 評議員会	平成27年5月27日	議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度事業報告について</li> <li>・平成26年度一般会計決算について</li> <li>・定款の一部変更について</li> <li>・理事の交替に関し評議員会の議決を求めることについて</li> </ul>



第2回 評議員会	平成27年9月28日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業実施状況報告(4～8月)</li> <li>第三者委員の選任について</li> </ul> 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>専決処分事項の承認を求めることについて 平成27年度一般会計補正予算について(第1号)</li> <li>平成27年度一般会計補正予算について(第2号)</li> <li>特定個人情報の適正な取り扱いに関する規程の制定について</li> </ul>
第3回 評議員会	平成28年1月27日	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度事業実施状況報告(9～12月)</li> <li>給与規程一部改正について</li> </ul> 議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>専決処分事項の承認を求めることについて 平成27年度一般会計補正予算について (第3号、第4号)</li> <li>平成27年度一般会計補正予算について(第5号)</li> </ul>
第4回 評議員会	平成28年3月28日	議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度補正予算について(第6号)</li> <li>平成28年度事業計画について</li> <li>平成28年度一般会計予算</li> <li>定款施行細則の全文改正について</li> <li>経理規程の一部改正について</li> <li>事務局及び職員に関する規程の全文改正について</li> </ul> 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>公印規程の全文改正について</li> <li>給与規程の一部改正について</li> </ul>
第1回 監事会	平成27年5月18日	平成26年度事業・決算監査
第2回 監事会	平成27年8月27日	平成27年4～6月事業・会計監査
第3回 監事会	平成27年12月3日	平成27年7～9月会計監査・現地監査
第4回 監事会	平成28年2月24日	平成27年10～12月会計監査・現地監査
法人指導 監査(市)	平成27年8月27日	平成26年度 法人運営・事業・会計監査(1年度分)

	期日・出席者	審議事項
社協監査指摘事項にかかる状況と対応策について監査員への報告	平成 28 年 2 月 24 日 ・ 監事 2 名 ・ 会長、副会長 2 名 ・ 事務局長 ・ 課長 4 名	・ 介護保険事故報告 ・ 財政健全化・経営改善への具体的取組(案)について



理事会



現地監査(蒲生事務所)

(2) 日常業務の円滑な実施のため課長会議ならびに主幹会議を定期開催し、情報共有を図ると共に職員の共通認識を高めました。

課長会議                    14 回  
主幹会議                    12 回(各課・事務所・事業所へ伝達)

(3) 福祉諸団体の事務局を担当

①東近江市共同募金委員会

- ・ 募金委員会事務局の運営 (理事会 2 回、評議員会 2 回、監事会 4 回)
- ・ 募金運動の推進 (赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金)
- ・ テーマ型募金への取り組み
- ・ 審査委員会の開催
- ・ 罹災者支援活動

②東近江市民生委員児童委員協議会

- ・ 協議会事務局の運営
- ・ 要援護者把握のための社会福祉調査の実施

③東近江介護サービス事業者協議会

- ・ 協議会事務局の運営

## 1. 「第三者委員会」の開催

市民や利用者に第三者委員会の一層の周知を行い、苦情解決や虐待防止に努め、事業改善に向け法人として対応を行いました。

・第三者委員会の開催

	期日	内容
第1回 第三者委員会	平成27年9月29日 愛東事務所じゅぴあ	苦情(19件)・事故報告(78件) 事業見学
第2回 第三者委員会	平成28年2月29日 東近江市福祉センターハートピア	苦情(7件)・事故報告(59件) 事業見学

## ⑫ 地域福祉活動のための民間財源の有効活用

社会福祉協議会の財政基盤強化のため自主財源の確保と自主事業の収入増加策を模索すると共に、民間の各種助成事業の活用等収入につながる財源確保にも努めました。

### 1. 地域福祉活動への意識高揚と、自主財源の確保

社協会員の加入を促進し自主財源の確保に努めました。

	平成26年度	平成27年度	
	実績額	件数	実績額
一般会費(一口500円)	12,152,146円	各世帯	12,190,821円
特別会費(一口1,000円)	3,162,000円	1,901件	3,114,000円
会費合計	15,314,146円		15,304,821円

### 2. 共同募金助成金の有効活用

共同募金助成金は寄付者の賛同が得られるよう、その用途として示されている地域福祉の推進に有効活用できるよう審査委員会等で検討を行いました。

### 3. 善意銀行の有効活用 (別掲23ページ)

市民の善意で寄せられる寄付金・物品について、安心して暮らせるまちづくりを進める市民活動等も応援できる、柔軟かつ効果的な運営のしくみづくりをすすめました。

また、善意銀行の有効活用により市全体の助け合いによる福祉向上を図りました。

- (1) 金銭預託・物品預託の受入れ
- (2) リサイクル預託(アルミ缶、牛乳パック、ベルマーク、使用済プリペイドカード、古切手、ペットボトルキャップ)
- (3) 預託金品等について市内の生活困窮世帯への支援や地域福祉活動をすすめる市民活動等にも活かしていけるよう、柔軟かつ効果的な払い出しのしくみづくりをしました。
- (4) 様々な広報活動により市民に善意銀行の啓発を行いました。

### 4. 民間助成金の有効活用

県共同募金会等からの助成金に関する情報収集を行い、有効に活用しました。

(ふれあい基金、しがぎん福祉基金、こども未来基金等)

## ⑬ 在宅福祉サービス事業のあり方の検討と効果的な運営

### (1) 管理者全体会議の開催

介護保険事業全般について縦割りであり、経営不振等の問題に対し、県社協の職員をスーパーバイザーに迎え、月に1回の管理者全体会議を開催し、これにより業務改善チーム、広報啓発チーム、育成チーム(研修担当等)に分け活動を行いました。管理者全体の連携強化とモチベーションアップにつながり、総合事業への取り組みや研修開催など主体的な活動につながりました。(11回)

- ・業務改善チーム 打合せ会 4回 東近江市で一番おいしい昼食づくりについて  
平成28年1月26日(火)16:30～調理員の意見交換会
- ・人材育成チーム 打合せ会 4回 職員研修について
- ・広報戦略チーム 打合せ会 4回 介護保険事業パンフレット作成について

### (2) 総合事業についての取り組み

平成30年から完全実施の総合事業について、在宅福祉課事業の方向性について学習会を開催した。その後、地域福祉課3名と在宅福祉課の職員5名の勉強会の場を設け継続実施しています。

- ・研修会開催12月16日 講師：日本福祉大学副学長 平野 隆之氏 149名参加
- ・講演会後の共通理解の確認と課をまたいで総合事業についての取り組みについての打ち合わせ会を開催しました。3回

### (3) 介護保険事業合同会議の開催(2月10日(水))

利用者増を目指し、社協内介護保険事業職員が集まり、利用者にとって魅力ある事業所とは「各事業所のえ〜とこ探し」をテーマに6グループに分かれ情報交換を行いました。

### (4) 財源確保の取り組み

#### ①訪問介護事業では、直行直帰を試行的に導入と活動記録様式の見直し

昨年5月末で廃止したヘルパーステーション愛東湖東の実施エリアをハートピアとゆうあいの家にてカバー。事業所は廃止したが、効率的な運営となっています。その分、移動時間や移動距離が増え職員に負担が生じているため、直行直帰の導入に向けたシミュレーションを行い、改善を図りました。

その結果、移動時間が短縮されたことで時間外が減り、職員の精神的な負担軽減に繋がりました。また、ヘルパー活動記録の様式については、記録時間の短縮と直帰直行による個人情報の持出しが課題でした。検討を進め12月より導入しました。

#### ②通所介護事業

○ハートピア 人件費の縮小と効率化を図るため、3月末で認知症デイサービスセンターを廃止し、4月から通常規模型デイサービスに統合。時間延長と土曜日開催を実施しました。結果、昨年1年間の収入の比では増額となり、稼働率も3月末には66%まで回復し、昨年より6%アップしました。

- あさひの 6月より定員を30名から25名に減らし、職員体制を変更せずに土曜日開催を実施しました。結果、昨年1年間の収入との比較では120万円の減額となりましたが11月からは逆転し、3月末には稼働率が68%まで回復し、昨年より8%アップしました。
- じゅぴあ 28年度には小規模型から通常に変わり、利用料が下がることから収入の安定化を図るための検討を重ね、時間延長の実施に向けての体制整備に取り組みました。

**(5) 質の高いサービスの提供により利用者増を図るため各サービスでの会議の開催や外部研修への参加はもとより内部研修にも力を入れて行いました。**

**①訪問介護・居宅介護**

- 管理者会議 (4/22、5/27、6/24、7/29、8/26、9/30、10/28、11/25、12/16、1/27、2/17、3/16)  
直行直帰について おたすけヘルプ 事故報告について 地域支援総合事業
- サービス提供責任者会議 (4/15、5/20、6/17、7/15、8/19、9/16、10/14、11/11、12/9、2/17、3/16)

アセスメントシートの見直し 申込み受付からの流れと様式の確認  
訪問介護計画の立案 サービス提供実績記録票の検討(運用の仕方)

**○実地指導**

平成27年1月にハートピア、ゆうあいの家、なごみが、6月にせせらぎが実地指導を受けました。文書による指摘はなかったものの口頭での注意点について改めて制度の理解を深めるため勉強会の継続実施を行いました。

6月30日 ヘルパーステーションせせらぎ 訪問介護

**○事業所指定更新に係る事前実地指導、業務管理体制に係る実地指導**

2月18日 ヘルパーステーションせせらぎ 居宅介護

**②通所系事業所**

- 管理者会議 (4/15、5/20、6/19、7/25、8/19、9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/16)
- 管理者会議の進め方、通所介護事業の現状と課題分析
- 生活相談員会議 (4/14、5/19、6/16、7/24、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/15)

生活相談員のキャリアアップのために①認知症部会②レクリエーション部会に分け、それぞれの部会にてエキスパートを目指し各々計画的に実施しました。

- 認知症部会では認知症専門施設のちやがゆの郷とかじやの里の新兵衛さんへの職員の実習研修の実施。 7月～8月 3名 延 6日間

**○通所介護全体研修**

10月15日(木)18:30～「ひもときシート」 58名

3月10日(木)18:30～「生活相談員成果発表会(認知症委員会・レクリエーション委員会)」

3月7日(月)・14日(月)18:30～「機能訓練研修」

**(6) 障がい(児)者福祉サービス事業のあり方の検討**

法律や制度改正に対応しながら、行政や関係諸機関、他事業所との連携を強化し、利用者のニーズに応じたサービス提供体制づくりを目指しました。本会実施事業



(介護・障がいホームヘルパー、相談事業、障がい者デイサービス)においては、利用者のニーズに応じ各事業が連携したサービス提供を行いました。また、内部だけではなく他事業所との協働による支援体制づくりや新規事業所の調整に努めました。

## **⑭ 地域福祉を総合的に進めるための体制づくり**

### **1. 経営管理の見直し**

(事業管理や財務管理、人事管理、所轄庁等への法務業務等)

経営管理について、組織課題の分析を行い、適正な事業・財政に向け、具体的な取り組みを行いました。

- (1) 財政健全化・経営改善への具体的取り組み案を作成し、各課・現場での取り組み目標を数値化し、実践を開始しました。
- (2) 職員給与見直しのため、市当局と調整を行いました。
- (3) 在宅福祉系事業管理者による事業運営、介護保険事業活性化に向けた検討会を開催しました。

### **2. 職員による職場体制づくりについての研修**

市民の期待に応えるための仕事がしやすい職場づくりを検討するとともに、そのために必要な研修を行いました。

- (1) 社協構成員として役職員研修を実施しました。

職員については、組織を担う人材育成のため、職責別研修体系の確立に向けた検討を行い、資質向上のため必要な研修を計画し積極的に参加しました。また昨年を引き続き、平成27年度も3名の新任採用を行っており、配属先での研修だけでなく、社会福祉協議会が目指す使命を理解できるようカリキュラムによる実地研修を行いました。また、平成28年1月からのマイナンバー法施行に伴い、法人では税や社会保障の手続きで個人番号(マイナンバー)が必要となることから、特定個人情報に関する4つの安全管理措置(組織的・人的・物理的・技術的)の整備を行うため、全職員を対象にマイナンバー制度の詳細や情報漏えい対策に関する研修会を実施しました。

#### **①内部・外部研修**

##### ○新任職員研修

(ステップI研修(事務3名、ヘルパー1名、デイ介護員1名)への参加・施設研修

・社協内他事業所での研修)

##### ○役職や業務ごとの階層別研修 (ステップアップ研修への参加)

##### ○専門分野ごとの研修

##### ○事例検討による研修

##### ○人権研修

平成28年2月24日(水) 東近江市あかね文化ホール 職員150名参加

『私たちの生活と人権』

講師 滋賀県人権センター 田中延和氏

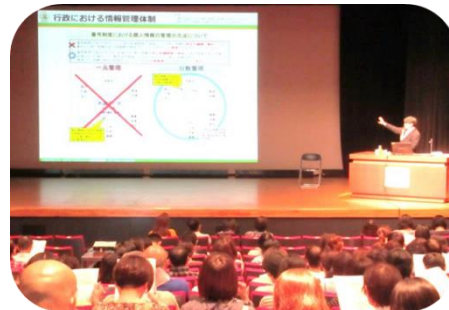
## ○マイナンバー研修

第1回平成28年9月29日 五個荘コミュニティセンター  
マイナンバー基礎研修(本会の顧問労務士)

第2回平成28年10月8日 東近江市福祉センターハートピア  
マイナンバー基礎研修 職員204名参加



新任職員研修



第1回マイナンバー基礎研修

## ②自己啓発研修

### **⑮ 適切な施設の運営・管理**

市施設(指定管理)・市社協施設(所有施設)を運営する上で、広く市民からのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行い、地域に開かれた施設として適切な管理を行いました。また、老朽化したデイサービスセンターあさひの屋根改修工事を行いました(工事費540万円(うち市補助金300万円))。

#### **1. 市施設の指定管理・運営(2施設)【市指定管理】**

- 東近江市福祉センターハートピア(空調設備、水銀灯、駐車場等修繕:542,700円)
- 能登川障害福祉センター水車野園(LED工事:108,523円)

#### **2. 市社協施設の管理・運営(5施設)**

- ゆうあいの家
- せせらぎ
- ちやがゆの郷
- かじやの里の新兵衛さん
- デイサービスセンターあさひの

#### **3. その他**

- マイナンバー安全管理措置のため、ネットワークセキュリティ構築を行いました。  
(369,564円)
- 介護保険事業(通所介護施設)でゆうあいを家の屋根ならびに浴槽、なごみの特殊浴槽の一部修繕を行いました。(470,771円)